

深川市都市計画マスタープラン 新旧対照表（令和2年6月25日現在）

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン
<p>目次</p> <p>1章 はじめに</p> <p><u>1 都市計画マスタープランとは</u></p> <p><u>2 計画策定の背景と目的</u></p> <p><u>3 計画に定める事項（対象区域・計画期間・目標年次）</u></p> <p>2章 全体構想</p> <p><u>1 将来目標の設定</u></p> <p><u>(1) 都市づくりの理念</u></p> <p><u>(2) 将来人口の設定</u></p> <p><u>(3) 土地需要の設定</u></p> <p><u>2 都市形成の基本的な考え方</u></p> <p><u>(1) 都市形成における地域区分</u></p> <p><u>(2) 深川市の将来都市像</u></p> <p><u>(3) 将来都市像別にみた、都市形成の基本的な考え方</u></p> <p><u>3 都市づくりの基本方針</u></p> <p><u>(1) 土地利用の方針</u></p> <p><u>(2) 道路・交通体系の方針 ※「2-2 都市施設整備の方針」から分割</u></p> <p><u>(3) 自然環境と都市景観の方針</u></p> <p><u>(4) 下水道・処理施設の方針 ※「2-2 都市施設整備の方針」から分割</u></p> <p>3章 地域別構想 ※「2-1 土地利用の方針」から分割</p> <p><u>1 深川市街地の土地利用方針</u></p> <p><u>(1) 住宅地</u></p> <p><u>(2) 商業業務地</u></p> <p><u>(3) 流通工業地</u></p> <p><u>2 その他市街地の土地利用方針</u></p> <p><u>(1) あげほの市街地</u></p> <p><u>(2) 広里市街地</u></p> <p><u>(3) 音江市街地</u></p> <p><u>3 周辺農業地域の土地利用方針</u></p> <p><u>(1) 周辺農業地域</u></p> <p>4章 計画の実現に向けて</p>	<p>目次</p> <p><u>はじめに・・・都市計画マスタープランとは</u></p> <p><u>1 ねらい</u></p> <p><u>2 計画策定区域と計画の目標期間</u></p> <p><u>3 計画策定体制（見直し）</u></p> <p><u>4 計画の流れ</u></p> <p>第1編 全体構想／将来目標の設定</p> <p>都市づくりの理念</p> <p>将来人口の設定、土地需要の設定</p> <p><u>1 都市形成の基本的な考え方</u></p> <p><u>1-1 都市形成における地域区分</u></p> <p><u>1-2 深川市の将来都市像</u></p> <p><u>1-3 将来都市像別にみた、都市形成の基本的な考え方</u></p> <p><u>2 都市づくりの基本方針</u></p> <p><u>2-1 土地利用の方針</u></p> <p><u>2-2 都市施設整備の方針</u></p> <p><u>2-3 自然環境と都市景観の方針</u></p> <p><u>2-4 将来における都市計画の方向性 ※「(1) 土地利用の方針」に統合</u></p> <p>第2編 地域まちづくりプロジェクト（地域別構想）</p> <p><u>地域まちづくりプロジェクトとは？</u></p> <p><u>1 地域まちづくりプロジェクト</u></p> <p>第3編 計画の実現に向けて／基本的な考え方</p>

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P
<p>1章 はじめに</p> <p>総合計画が掲げる、都市の将来像を実現するために描く、「まちづくりの設計図」。 これが、都市計画マスタープランです。</p> <p>1 都市計画マスタープランとは 都市計画マスタープランとは、<u>都市計画法第18条の2に基づく「市町村の都市計画に関する基本的な方針」を示す計画</u>です。 <u>「第五次深川市総合計画」などを踏まえ概ね20年後の「目指すべき都市の将来像」を明確に定めるとともに、土地利用や都市施設等（道路、公園、下水道等）の整備方針を示すことで、今後のまちづくりの道筋を示すものです。</u></p> <p style="text-align: center;">図 1-1 計画の位置づけ</p> <p><u>今、地方は人口減少や少子高齢化の急速な進行、地球規模で進む環境問題、経済活動の低下の中であって、行政改革の推進や地方分権の進展など、地域を取り巻く現状や課題を的確に把握し、これまで進めてきたまちづくりの成果を生かしつつ、新しい時代に向けたまちづくりが求められているところです。</u></p>	<p>■はじめに・・・都市計画マスタープランとは？</p> <p>総合計画が掲げる、都市の将来像を実現するために描く、「まちづくりの設計図」。 これが、都市計画マスタープランです。</p> <p>近年地方分権に伴う大幅な権限委譲、成熟型の社会への移行など、社会構造の変化に対応した、地方自治体におけるまちづくりが求められているところです。 都市計画マスタープラン（「市町村の都市計画に関する基本的な方針」都市計画法第18条の2）は、平成4年6月の都市計画法の大改正に伴い創設された、新たな計画です。</p>	

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P
<p>2 計画策定の背景と目的</p> <p><u>深川市都市計画マスタープランは、平成16年（2004年）12月に策定されておりますが、策定から約15年経過し、近年の人口減少や少子高齢化、社会経済情勢の変化等の観点から現状に即した内容に見直す必要があります。</u></p> <p><u>このような状況を踏まえ、将来の都市像・都市構造を住民と行政が一体となって描き、都市計画や市街地の社会基盤（インフラ）分野において、将来にわたって持続可能な深川市の実現に向けたまちづくりの方向性を定めます。</u></p> <p><u>また、同時期に策定の「深川市立地適正化計画」や「深川市地域公共交通網形成計画」と連動して『コンパクトシティ・プラス・ネットワーク』*を推進します。</u></p> <p>深川市都市計画マスタープランの目的は、「第五次深川市総合計画」に示す「都市の将来像」の実現に向けての大きな道筋を明らかにすることであり、いわば、深川市の「まちづくりの設計図」といってもよいものでしょう。</p> <p>都市計画法によると、「都市計画」とは、「都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する計画」であり、都市計画が取り扱う範囲は広範囲に及び、<u>中長期的なビジョンの実現のために、地域に住む住民の理解や協力を得ることが必要です。</u></p> <p>従って、都市計画マスタープランづくりに<u>ついて</u>は今後のまちづくりを「どのように行うか」、また、「どのような方針の下に実現するのか」を、住民と共に考え、計画の中に適切に盛り込むことが必要なのです。</p> <p>※『コンパクト・プラス・ネットワーク』：</p> <p><u>人口減少社会においてそれぞれの地域内で各種機能をコンパクトに集約すると同時に、各地域が公共交通ネットワークでつながることにより一定の圏域人口を確保し、生活に必要な機能を維持するまちづくりの考え方。</u></p> <p>3 計画に定める事項（対象区域・計画期間・目標年次）</p> <p><u>本計画の対象区域は、市街地を含み一体の都市として総合的に整備、開発及び保全することが必要な区域である深川都市計画区域（2,353ha）とします。</u></p> <p><u>計画期間は、令和2（2020）年度を見直し基準年とし、令和23（2041）年度までの22年間を計画期間とします。</u></p>	<p>(1)ねらい</p> <p>深川市都市計画マスタープランの目的は、「第四次深川市総合計画」に示す「都市の将来像」の実現に向けての大きな道筋を明らかにすることにあります。</p> <p>いわば、深川市の「まちづくりの設計図」といってもよいものでしょう。</p> <p>都市計画法によると、「都市計画」とは、「都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する計画」であるとされています。</p> <p>都市計画が取り扱う範囲は広範囲に及び、その実現には多くの時間が必要であることから、<u>地域に住む住民の理解なしには、実現することはできません。</u></p> <p>従って、都市計画マスタープランづくりに<u>あたっては</u>、今後のまちづくりを「どのように行うか」、また、「どのような方針の下に実現するのか」を、住民と共に考え、計画の中に適切に盛り込むことが必要なのです。</p> <p>(2)計画策定区域と計画の目標期間</p> <p>「深川市都市計画マスタープラン」の策定区域は、市街地を含み一体の都市として総合的に整備、開発、及び保全することが必要な区域である都市計画区域を対象とします。</p> <p>計画の目標期間は、総合計画をより具体化した計画としての性格であること、都市計画のもつ長期的な視野の必要性に鑑み、概ね20年後と設定し、10年毎に見直すこととします。</p> <p>(3)計画策定体制</p> <p>(4)調査計画の流れ</p>	

図 1-2 計画対象区域

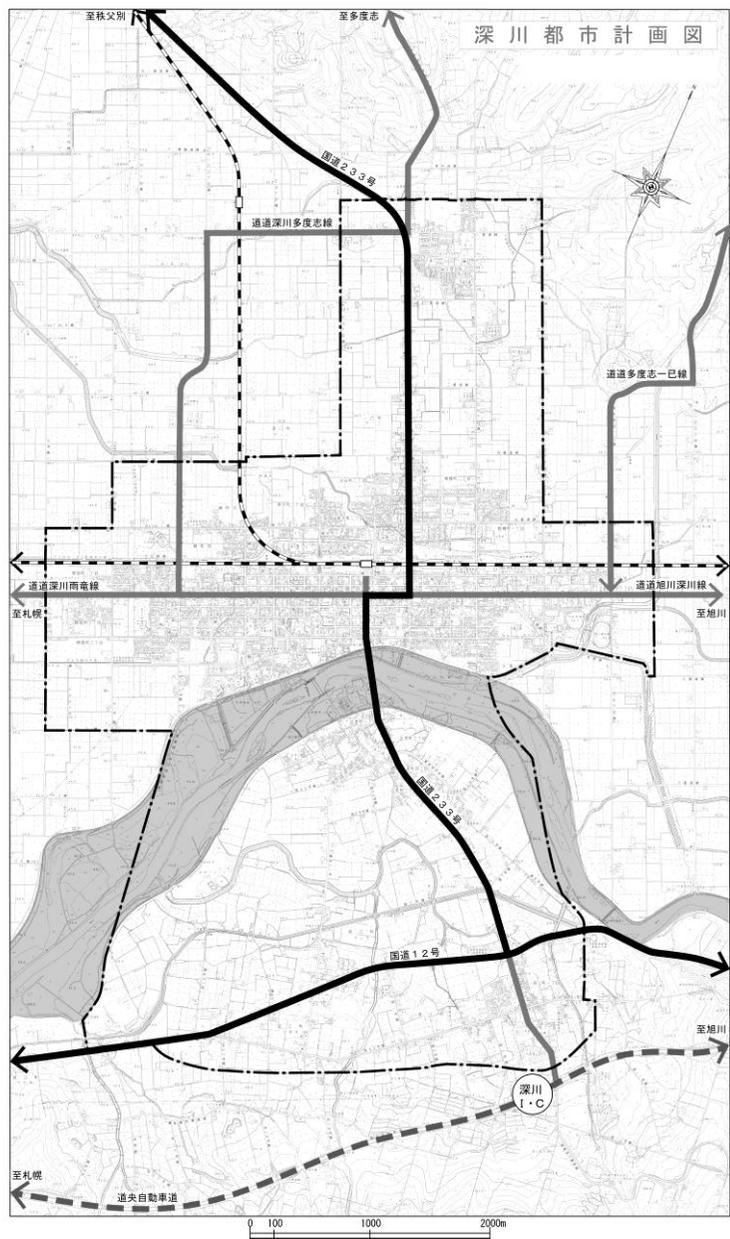
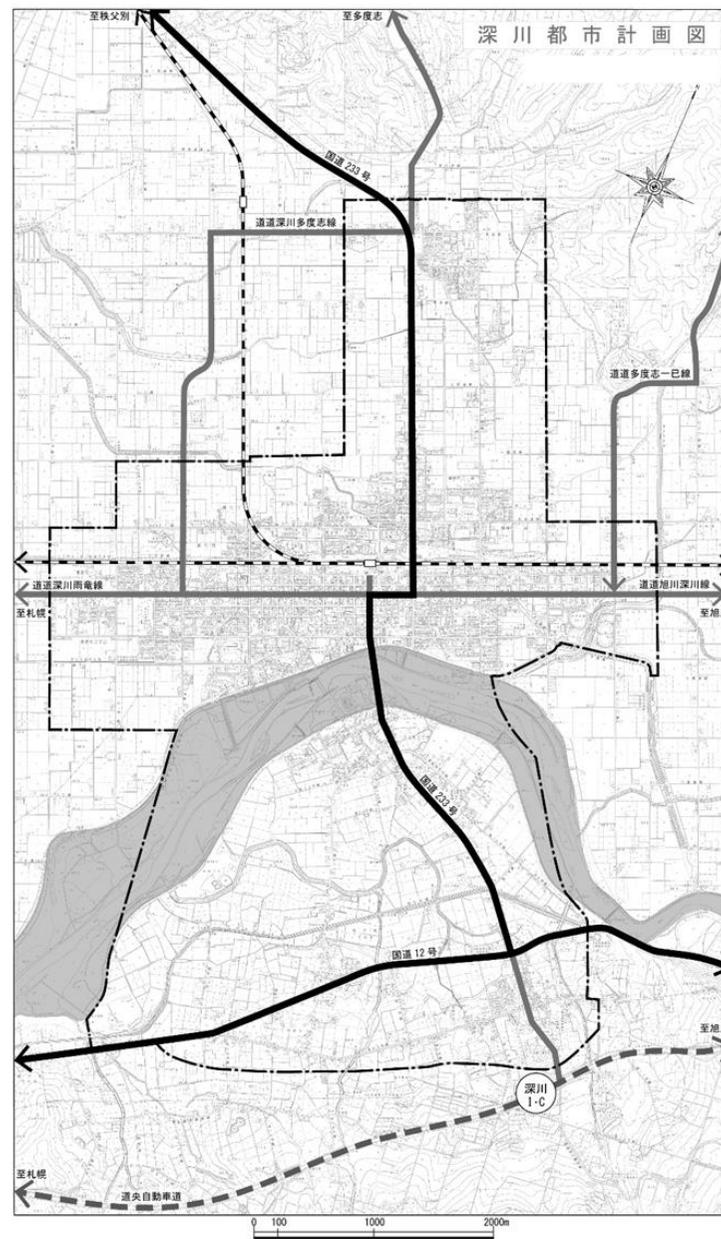


図 計画対象区域



新 深川市都市計画マスタープラン (たたき台)	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P
<p data-bbox="98 153 271 180">2章 全体構想</p> <p data-bbox="98 225 322 252">1 将来目標の設定</p> <div data-bbox="98 288 1093 400" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p data-bbox="181 312 949 379">「輝くみどりと豊かな心 みんなで創る 我がまち ふかがわ」</p> </div> <p data-bbox="107 443 371 470">(1) 都市づくりの理念</p> <p data-bbox="98 480 1084 539">深川市では、総合計画に基づき建設・経済・福祉・社会教育などの各種行政施策が行われています。</p> <p data-bbox="120 549 949 576">いわば総合計画とは、深川市の行政施策の羅針盤とでもいうべきものです。</p> <p data-bbox="98 585 1084 751">深川市は、「<u>第五次深川市総合計画</u>」において<u>美しく豊かな自然環境のもと、農業・林業をはじめとする地域産業が発展し、市民が心身ともに健康で豊かで広い心を持ち、安全で安心して暮らしていけるまち、市民と行政の協働によりみんなでまちづくりを進める基本姿勢として『輝くみどりと豊かな心 みんなで創る 我がまち ふかがわ』</u>を都市の未来像として掲げています。</p> <p data-bbox="98 761 1084 820"><u>同様に</u>深川市都市計画マスタープランにおいても、この「<u>第五次深川市総合計画</u>」に示す未来像を基本理念として設定するものです。</p>	<p data-bbox="1106 153 1335 180">第1編 全体構想編</p> <p data-bbox="1106 225 1285 252">将来目標の設定</p> <div data-bbox="1106 288 2101 400" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p data-bbox="1137 296 2069 323">「市民とともに創る 住みよいまち 深川」</p> <p data-bbox="1249 333 1525 360">—農村環境と調和した、</p> <p data-bbox="1413 370 2011 397">いつまでも住み続けることができるまちを目指して—</p> </div> <p data-bbox="1106 443 1308 470">都市づくりの理念</p> <p data-bbox="1106 480 2101 539">深川市では、総合計画に基づき、建設・経済・福祉・社会教育などの、各種行政施策が行われています。</p> <p data-bbox="1128 549 1957 576">いわば総合計画とは、深川市の行政施策の羅針盤とでもいうべきものです。</p> <p data-bbox="1106 585 2101 751">深川市は、「<u>第四次深川市総合計画</u>」において、<u>恵まれた自然環境や社会環境をいかしたまちづくりとするため、市民と行政が一体となってまちづくりを進める基本姿勢と、人と人とのふれあいや自然を大切に、すべての市民が住んでよかったと思えるようなまち、ふるさと深川に誇りを持てるようなまちづくりを進めるため、「市民とともに創る 住みよいまち 深川」</u>を都市の未来像として掲げています。</p> <p data-bbox="1106 761 2101 820"><u>そこで、</u>深川市都市計画マスタープランにおいても、この「<u>第四次深川市総合計画</u>」に示す未来像を基本理念として設定します。</p> <p data-bbox="1106 829 2101 927">また、基本理念の下にサブタイトルとして、深川市の基幹産業である農業の環境と、都市環境との調和のとれたまちづくりを進めるため、「<u>農村環境と調和した、いつまでも住み続けることができるまちを目指して</u>」と設定します。</p>	<p data-bbox="2121 153 2179 180">旧P</p> <p data-bbox="2121 225 2179 252">P1</p>

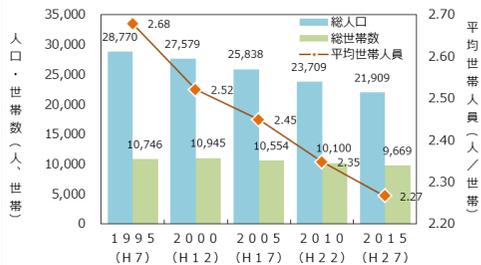
新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）

(2) 将来人口の設定

現在、人口は大幅な減少傾向を示し、農業の担い手問題など地域産業の状況や出生率の低下などの影響により、今後とも大幅な人口減少が推測されています。

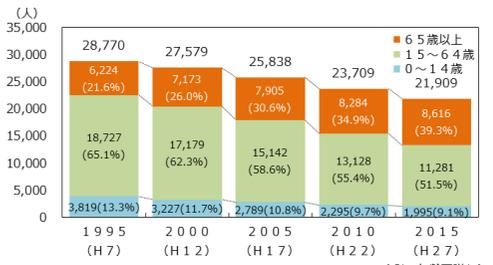
本計画における将来人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を基に、令和23年の人口を概ね13,100人と設定します。

図 2-1 総人口・世帯数・平均世帯人員の推移



資料：各年国勢調査結果（総務省統計局）

図 2-2 年齢3区分別人口の推移



※合計は年齢不詳を含む

資料：各年国勢調査結果（総務省統計局）

図 2-3 年齢3区分別人口の推移



資料：各年国勢調査結果（総務省統計局）、国立社会保障・人口問題研究所（平成30年3月推計）

旧 深川市都市計画マスタープラン

将来人口、土地需要の設定
将来人口の設定

現在、人口は減少の傾向を示し、産業については停滞している状況にあり、今後ともこれらが増加、発展に転じることは容易ではないと推測されます。

一方、世帯数については増加の傾向を示しており、第四次深川市総合計画においては、定住対策や雇用拡大の取り組みにより平成23年における将来人口を26,700人と設定しています。

本計画における将来人口も総合計画の取り組みを尊重し、この数値と同等に設定し、また平成33年の人口も概ね26,000人と設定します。

旧P
P1

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）

表 2-1 深川市の将来人口の設定

項目	S60	H2	H7	H12	H22	H27	R13	R23
行政区域人口 (前回比)	33,500	30,600 (91.3%)	28,770 (94.0%)	27,576 (95.8%)	23,709 (86.0%)	21,909 (92.4%)	概ね 16,540 (75.5%)	概ね 13,100 (79.2%)
都市計画区域内人口 (前回比)	23,400	22,400 (95.7%)	21,183 (94.6%)	20,715 (97.8%)	18,255 (88.1%)	17,494 (95.8%)	概ね 13,000 (74.3%)	概ね 10,600 (81.5%)
用途地域内人口 (前回比)	-	-	17,974	17,832 (99.2%)	16,055 (90.0%)	15,205 (94.7%)	概ね 11,300 (74.3%)	概ね 9,300 (82.3%)

資料：【行政区域人口】国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（平成30年3月推計）
 【都市計画区域内・用途地域内人口】国勢調査、住民基本台帳、将来人口・世帯予測ツールV2を活用した推計値

(3) 土地需要の設定

将来の土地需要の設定にあたっては、人口規模を大きく見直す必要があるため、今後はこれまで進めてきた都市基盤を活用した内部充足型のまちづくりを基本とし、農林業との健全な調和を図りながら、コンパクト化に重点を置き、豊かな自然環境や景観の保全に努める持続可能な都市づくりを進めます。

旧 深川市都市計画マスタープラン

表 深川市の将来人口の設定

項目	S60	H2	H7	H12	(H23)	H32
行政区域人口	33,500	30,600	28,770	27,576	26,700	概ね 26,000
都市計画区域内人口	23,400	22,400	21,183	20,715	概ね 20,000	
用途地域内人口					概ね 18,000	

資料：国勢調査(行政区域)、住民基本台帳(都市計画区域内、用途地域内)による。
 H23・H32行政区域人口は第四次総合計画を基に設定。
 都市計画区域内人口は、比例推計値。
 用途地域内人口は、近年の市街地部への集中化及び今後の施策を考慮しほぼ現状維持に設定。

●土地需要の設定

将来の土地需要の設定にあたっては、人口規模を現在と同程度と想定し、今後はこれまで進めてきた都市基盤を活用した内部充足型のまちづくりを基本とし、農林業との健全な調和を図りながら、豊かな自然環境や景観の保全に努める都市づくりを進めます。

旧P
P1

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）

2 都市形成の基本的な考え方

(1) 都市形成における地域区分

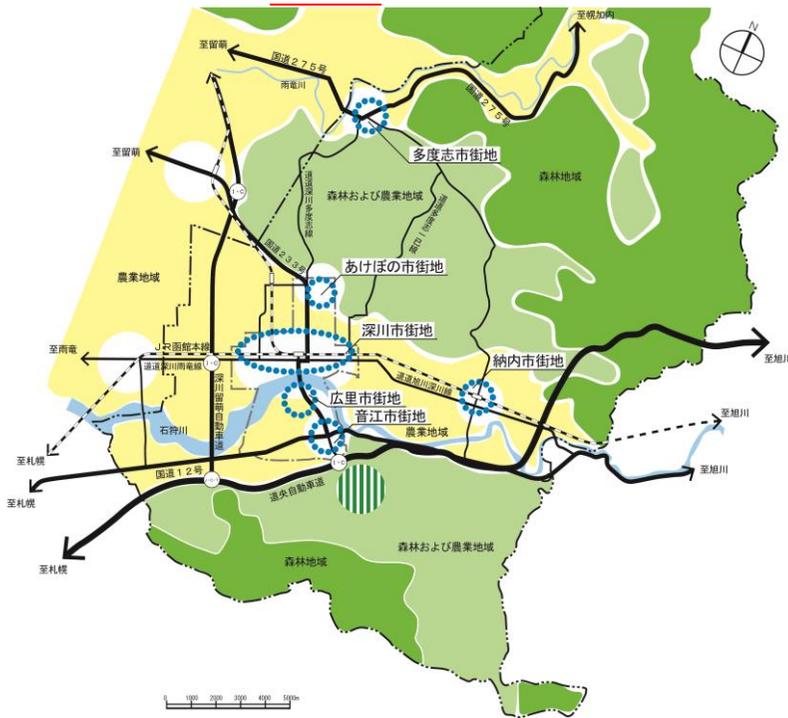
深川市の都市形成の基本的な地域区分としては、合併市という成り立ちから、大きく分けると以下の6つの市街地とそれを取り巻く農業地域・森林地域に区分されます。

《6つの市街地》

「深川市街地」 「あけぼの市街地」 「広里市街地」
 「音江市街地」 「納内市街地」 「多度志市街地」

この6つの市街地のうち、都市計画区域は「深川市街地」・「あけぼの市街地」・「広里市街地」・「音江市街地」と、その市街地を取り巻く「農業地域」で構成されています。都市計画マスタープランでは、この地域区分を基本として、地域の特性を活かしつつ、コンパクト化した地域が公共交通網によって有効につながり、都市として形成できるように将来都市像を設定しています。

図 2-4 市街地の位置



旧 深川市都市計画マスタープラン

2. 都市形成の基本的な考え方

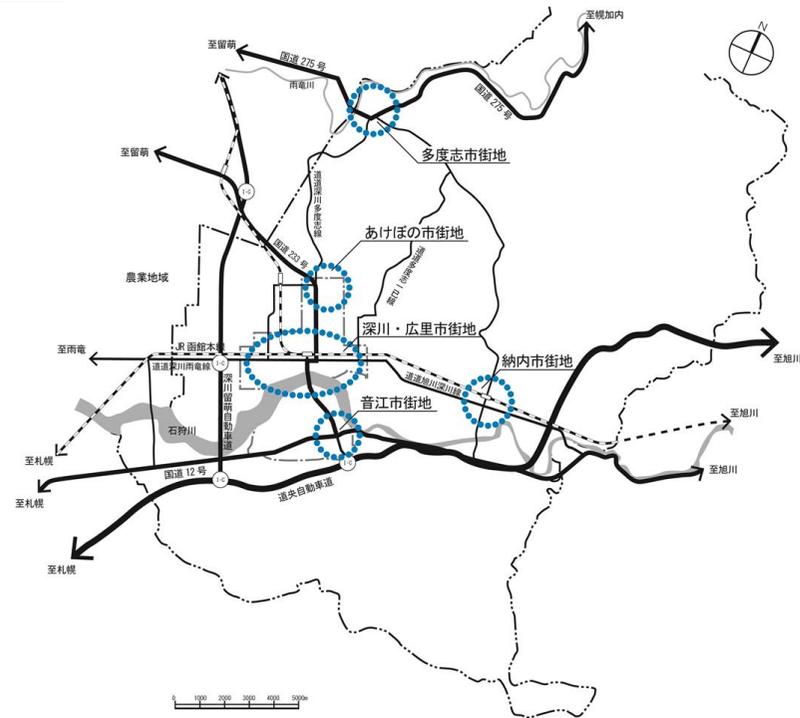
2-1. 都市形成における地域区分

深川市の都市形成の基本的な地域区分としては、合併市という成り立ちから、大きく分けると以下の6つの市街地とそれを取り巻く農業地域・森林地域に区分されます。

「深川市街地」 「あけぼの市街地」 「広里市街地」
 「音江市街地」 「納内市街地」 「多度志市街地」

上記の市街地のうち都市計画区域は、「深川市街地」・「あけぼの市街地」・「広里市街地」・「音江市街地」とその市街地を取り巻く「農業地域」で構成されています。都市計画マスタープランでは、この地域区分を基本として、地域が有効にリンクしながら都市として形成できるように将来都市像を設定します。

図1-1-1 市街地の位置



新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）

(2) 深川市の将来都市像

基本理念としての未来像を「輝くみどりと豊かな心 みんなで創る 我がまち 心かか
わ」と設定し、①市街地を取り巻く自然・農村環境、②広域的な位置づけ、③人口世帯・
産業などの社会環境、の3つの視点から、以下のとおり具体的な将来都市像を設定して
います。

表 2-2 深川市の将来都市像（まとめ）

視点	将来都市像
①自然・農村環境	恵まれた自然環境を活かした 「田園都市」
②広域的な位置づけ	市民生活の多様化・広域化に対応した 「広域連携都市」
③社会環境	全ての人々が安心・快適に生活できる 「あんしん生活都市」

表 2-3 「将来都市像」で設定する地域と主な市街地の対応

大項目	中項目	小項目	主な市街地の対応
自然系 土地利 用 地域	森林環境保全活用地域		森林地域
	田園環境保全活用地域 自然レクリエーション地域 地域農業居住拠点(集落市街地)		農業地域 大規模公園など 納内市街地 多度志市街地
都市系 土地利 用 地域	都市的アメニティ拠点	中心市街地ゾーン まちなか市街地ゾーン 沿道市街地ゾーン	深川市街地 深川市街地中心部 深川市街地沿道部 広里市街地
	田園型居住拠点 (都市隣接住宅地)		あけぼの市街地 音江市街地

旧 深川市都市計画マスタープラン

2-2.深川市の将来都市像

基本理念としての未来像を「市民とともに創る 住みよいまち 深川」と設定していま
すが、巻末に示す「深川市民のまちづくりアイデア集」と、庁内会議による検討を踏ま
え、①市街地を取り巻く自然・農村環境、②広域的な位置づけ、③人口世帯・産業などの
社会環境、の3つの視点から、以下のとおり具体的な将来都市像を設定しました。

表 深川市の将来都市像（まとめ）

視点	将来都市像
自然・農村環境	恵まれた自然環境をいかした 「田園都市」
広域的な位置づけ	市民生活の多様化・広域化に対応した 「広域連携都市」
社会環境	全ての人々が安心・快適に生活できる 「あんしん生活都市」

表1-1-1 「将来都市像」で設定する地域と主な市街地の対応

大項目	中項目	小項目	主な市街地の対応
自然系 土地利 用 地域	森林環境保全活用地域		森林地域
	田園環境保全活用地域 自然レクリエーション地域 地域農業居住拠点(集落市街地)		農業地域 大規模公園など 納内市街地 多度志市街地
都市系 土地利 用 地域	都市的アメニティ拠点	中心市街地ゾーン まちなか市街地ゾーン 沿道市街地ゾーン	深川市街地 深川市街地中心部 深川市街地沿道部 広里市街地
	田園型居住拠点 (都市隣接住宅地)		あけぼの市街地 音江市街地

旧P
P3

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P
<p data-bbox="107 148 730 177">(3) 将来都市像別にみた、都市形成の基本的な考え方</p> <div data-bbox="107 212 1077 277" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="107 212 622 277">○将来都市像 1. 恵まれた自然環境を 活かした「田園都市」</p> </div> <p data-bbox="91 312 322 341">①将来都市像の概念</p> <p data-bbox="91 344 1084 437">深川市は、市街地の北側にはコップ山・尚武山など、南側には音江山・沖里河山などの山地・丘陵地が望めると共に、市街地周囲を優良な水田で取り囲まれ、自然や穏やかな農村環境に恵まれたまちです。</p> <p data-bbox="91 440 1084 533">これらの良好な自然環境を 活かし、市街地周辺には丸山公園・まあぶオートキャンプ場などが、市民の身近なレクリエーションの場として整備されていると共に、市街地から望む音江山の四季の緑は、市民の毎日の生活に貴重な潤いを与えています。</p> <p data-bbox="91 536 1084 596">今後も、これらの優れた自然・農村環境を保全活用し、農業のまち深川ならではの「田園都市」を目指します。</p> <p data-bbox="91 632 418 660">②都市形成の基本的な考え方</p> <p data-bbox="91 663 1084 724">都市計画区域内を大きく「自然系土地利用地域」と「都市系土地利用地域」に区分し、それぞれに適切な土地利用を行うことで、「田園都市」の形成を図ります。</p> <p data-bbox="91 727 1084 820">また都市計画区域は、インターチェンジ周辺などの新たな土地利用の動向を見極めなければなりませんが、都市計画区域の範囲の拡大については、コンパクト化の観点から特に慎重な検討が必要です。</p> <p data-bbox="91 855 371 884">a. 自然系土地利用地域</p> <p data-bbox="91 887 1084 979">深川の貴重な緑資源として、森林、農業の保全・活用を図る地域です。 新たに大規模な市街地整備は行わないことを基本とすることで、市街地周囲の山地丘陵地、水田地域などの優良な農村環境の保全・活用を図ります。</p> <ul data-bbox="91 983 1084 1337" style="list-style-type: none"> ・「森林環境保全活用地域」 都市計画区域北側及び南側の山林・樹林地は、市街地の輪郭を形成する緑として、また市民の身近なレクリエーションの場として貴重な資源であり、今後も維持保全・活用を図ります。 ・「田園環境保全活用地域」 市街地周囲に広がる水田・畑作などの農用地は、深川市の基幹産業であるとともに、郷土景観として重要な役割を果たす優れた緑として、維持保全・活用を図ります。 ・「自然レクリエーション地域」 都市計画区域南側に位置する、まあぶオートキャンプ場・アップルランド山の駅おとえなどの一帯は、四季を通じて利用される市民の身近なレクリエーションの場として、機能強化や充実を図ります。 	<p data-bbox="1104 148 1727 177">2-3. 将来都市像別にみた、都市形成の基本的な考え方</p> <div data-bbox="1104 212 2096 277" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="1104 212 1619 277">○将来都市像 1. 恵まれた自然環境を いかした「田園都市」</p> </div> <p data-bbox="1104 312 1335 341">①将来都市像の概念</p> <p data-bbox="1104 344 2096 437">深川市は、市街地の北側はコップ山・尚武山など、南側においては音江山・沖里河山などの山地・丘陵地が望めると共に、市街地周囲を優良な水田で取り囲まれた、自然・農村環境豊かなまちです。</p> <p data-bbox="1104 440 2096 533">これらの良好な自然環境を いかし、市街地周辺には丸山公園・まあぶオートキャンプ場などが、市民の身近なレクリエーションの場として整備されていると共に、市街地から望む音江山の四季の緑は、市民の毎日の生活に貴重な潤いを与えています。</p> <p data-bbox="1104 536 2096 596">今後も、これらの優れた自然・農村環境を保全活用し、農業のまち深川ならではの「田園都市」の実現を目指します。</p> <p data-bbox="1104 632 1431 660">②都市形成の基本的な考え方</p> <p data-bbox="1104 663 2096 724">都市計画区域内を大きく「自然系土地利用地域」と「都市系土地利用地域」に区分し、それぞれに適切な土地利用を行うことで、「田園都市」の形成を図ります。</p> <p data-bbox="1104 727 2096 788">また都市計画区域は、換地などによる筆界の変更、インターチェンジ周辺などの新たな土地利用に適切に対応するため、都市計画区域の範囲の変更について検討を行います。</p> <p data-bbox="1104 855 1357 884">a. 自然系土地利用地域</p> <p data-bbox="1104 887 2096 979">深川の貴重な緑資源として、森林、農業の保全・活用を図る地域です。 新たに大規模な市街地整備は行わないことを基本とすることで、市街地周囲の山地丘陵地、水田地域などの優良な農村環境の保全・活用を図ります。</p> <ul data-bbox="1104 983 2096 1337" style="list-style-type: none"> ・「森林環境保全活用地域」 都市計画区域北側及び南側の山林・樹林地は、市街地の輪郭を形成する緑として、また市民の身近なレクリエーションの場として貴重な資源であり、今後も維持保全・活用を図ります。 ・「田園環境保全活用地域」 市街地周囲に広がる水田・畑作などの農用地は、深川市の基幹産業であるとともに、郷土景観として重要な役割を果たす優れた緑として、維持保全・活用を図ります。 ・「自然レクリエーション地域」 都市計画区域南側に位置する、三瓶山周辺のまあぶオートキャンプ場・深川スキー場などを含む一帯は、四季を通じて利用される市民の身近なレクリエーションの場として、機能強化や充実を図ります。 	<p data-bbox="2123 148 2190 177">旧P</p> <p data-bbox="2123 148 2190 177">P4</p>

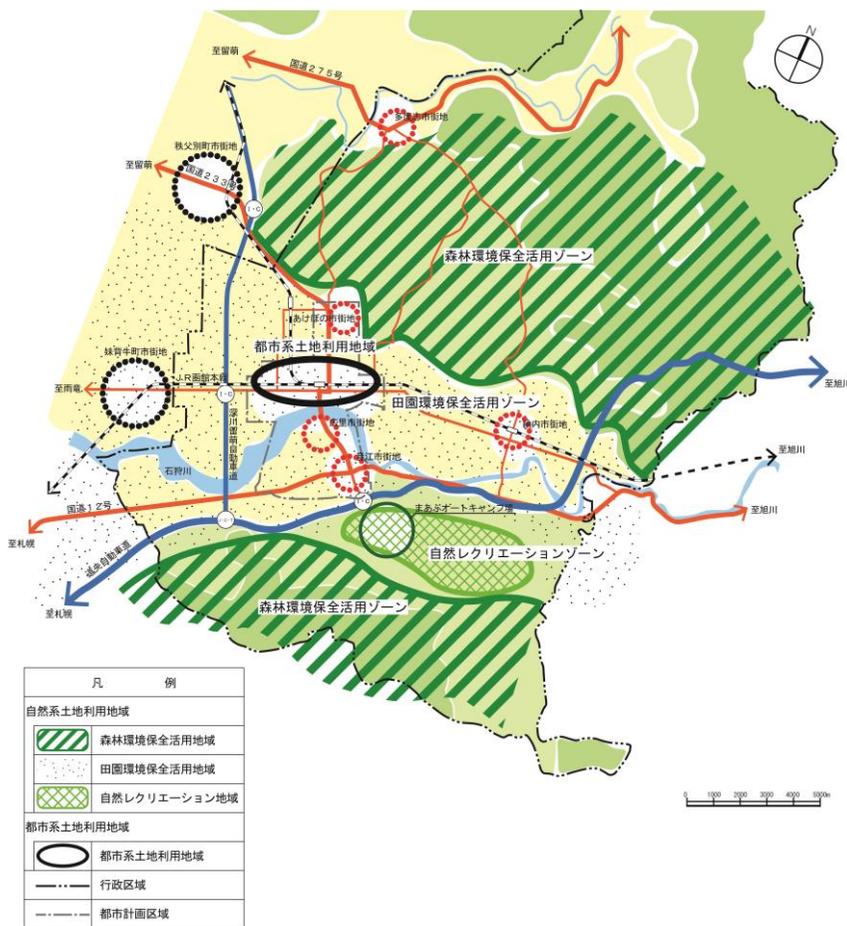
新 深川市都市計画マスタープラン (たたき台)

b. 都市系土地利用地域

深川市の中心市街地となる、深川市街地は、都市活動を支える市街地として、立地適正化計画など、集約の方針と合わせ整備・開発を誘導していく地域です。

整備・開発にあたっては、現在の市街地規模の拡大を防止するとともに、都市機能の集積を図ることにより、都市活動に伴う環境負荷を軽減し、農村環境との調和を図ります。

図 2-5 「田園都市」形成の基本的な考え方



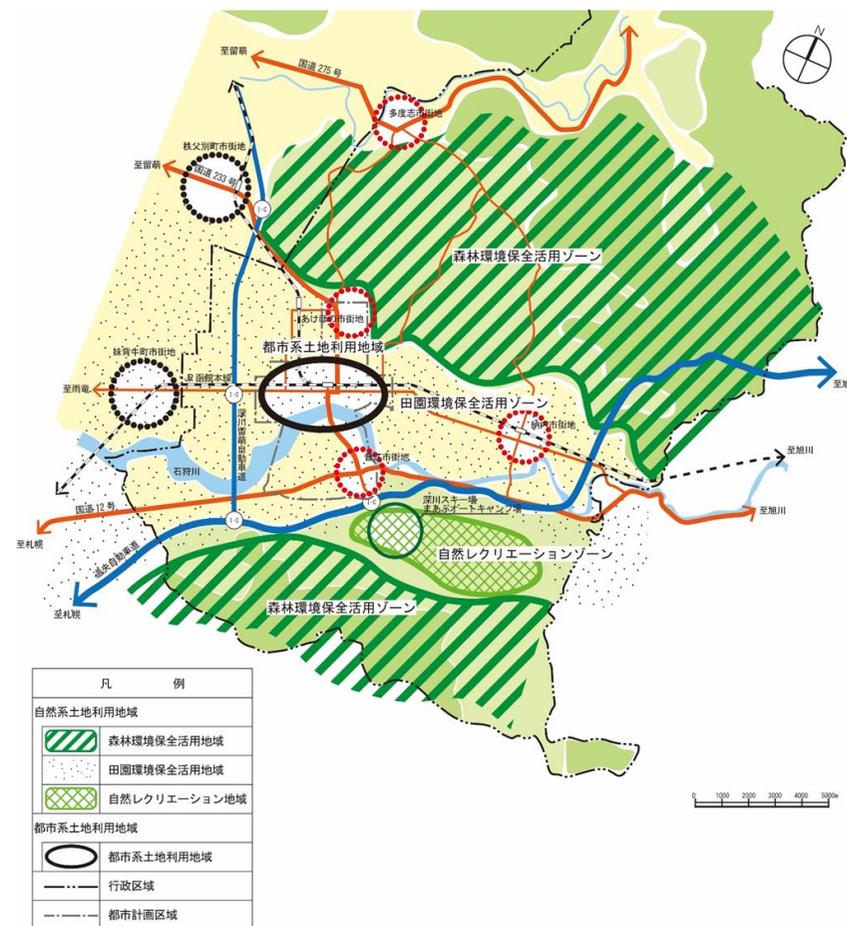
旧 深川市都市計画マスタープラン

b. 都市系土地利用地域

深川市の中心市街地となる、深川・広里市街地は、都市活動を支える市街地として、整備・開発を誘導していく地域です。

整備・開発にあたっては、現在の市街地規模からむやみに拡大せず、都市機能のほどよい集積を図ることにより、都市活動に伴う環境負荷を軽減し、農村環境との調和を図ります。

図 「田園都市」形成の基本的な考え方



旧P
P4

P5

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P
<p data-bbox="107 185 1070 248">○将来都市像 2. 市民生活の多様化、広域化に対応した「広域連携都市」</p> <p data-bbox="96 284 320 309">①将来都市像の概念</p> <p data-bbox="96 316 1081 373">深川市は、深川・一已・納内・音江・多度志の町村合併により、現在では約529km²という広い行政区域を持つまちです。</p> <p data-bbox="96 379 1081 469">都市計画区域内には、深川・広里市街地、あけぼの市街地、音江市街地が位置しますが、都市計画区域外にも、多度志市街地、納内市街地など地域農業の拠点として機能する市街地が位置しています。</p> <p data-bbox="96 475 1081 628">また、北海道の中核都市「札幌市」と道北圏の中核都市「旭川市」を結び、大きな軸上に位置するまちであり、市域には国道12号・国道233号、<u>国道275号</u>、道央自動車道・深川留萌自動車道、JR函館本線・留萌線など、本道の都市と都市を連絡する主要な骨格というべき交通が通っており、札幌市へは自動車約70分、旭川市へは約30分と利便性の高い位置にあります。</p> <p data-bbox="96 635 1081 724">本市の基幹産業である農業と都市住民の交流拡大を図る「アグリ工房まあぶ（都市農村交流センター）」や道の駅「ライスランド深川」の施設は、国道・高速道路の結節点に位置し、多くの集客能力を発揮しています。</p> <p data-bbox="96 730 1081 884">これからの市民生活は、交通ネットワーク利用により広域化していくことから、市内の各市街地に適切な機能、役割分担を持たせ、これらを結ぶ道路交通ネットワークの充実を図るとともに、他市町村との機能分担も考慮した交通ネットワークや鉄道・道路等の交通結節点機能の強化を図る<u>など</u>、多様で広域化する市民ニーズに対応する「広域連携都市」の形成を検討します。</p> <p data-bbox="96 922 416 948">②都市形成の基本的な考え方</p> <p data-bbox="96 954 1081 1011">行政区域内の主な<u>6</u>つの市街地を、その成り立ちや地域産業との関わりから3つの種類の「拠点」に分類し、それぞれに適切な機能、役割分担を持たせた集約を目指します。</p> <p data-bbox="96 1018 1081 1075">また、これら拠点を連絡する道路ネットワークの充実・強化に<u>向け</u>、「<u>深川市地域公共交通網形成計画</u>」に基づき取り組みます。</p> <p data-bbox="96 1114 551 1139">a. 都市的アメニティ拠点（深川市街地）</p> <p data-bbox="96 1145 1081 1235">深川市街地は、産業・文化・教育・医療・福祉<u>など</u>の高次都市機能が集約する北空知地域の<u>中核</u>としての役割を担う中心市街地です。市立病院の機能充実、これに合わせた市街地内歩行者系道路網の充実など、今後もこれら都市機能の充実を図ります。</p> <p data-bbox="96 1273 999 1299">b. 田園型居住拠点（都市隣接住宅地……あけぼの市街地、<u>広里</u>・音江市街地）</p> <p data-bbox="96 1305 1081 1362">都市計画区域内に位置する住宅市街地です。周囲の豊かな農村環境を<u>活</u>かし、緑豊かな住宅市街地として、基盤施設の整備、維持管理を図ります。</p>	<p data-bbox="1115 185 2101 248">○将来都市像 2. 市民生活の多様化、広域化に対応した「広域連携都市」</p> <p data-bbox="1104 284 1328 309">①将来都市像の概念</p> <p data-bbox="1104 316 2089 437">深川市は、深川・一已・納内・音江・多度志の町村合併により、現在では約529km²という広い行政区域を持つまちです。都市計画区域内には、深川・広里市街地、あけぼの市街地、音江市街地が位置しますが、都市計画区域外にも、多度志市街地、納内市街地など地域農業の拠点として機能している市街地が位置しています。</p> <p data-bbox="1104 475 2089 692">また、北海道の中核都市「札幌市」と道北圏の中核都市「旭川市」を結び、大きな軸上に位置するまちであり、市域には国道12号・国道233号、道央自動車道・深川留萌自動車道、JR函館本線・留萌線など、本道の都市と都市を連絡する主要な骨格というべき交通が通っており、札幌市へは自動車約70分、旭川へは約30分と利便性の高い位置にあります。本市の基幹産業である農業と都市住民の交流拡大を図る「アグリ工房まあぶ（都市農村交流センター）」や道の駅「ライスランド深川」の施設は、国道・高速道路の結節点に位置し、多くの集客能力を発揮しています。</p> <p data-bbox="1104 730 2089 884">これからの市民生活は、交通ネットワーク利用により広域化していくことから、市内の各市街地に適切な機能、役割分担を持たせ、これらを結ぶ道路交通ネットワークの充実強化を図ると共に、他市町村との機能分担も鑑みた交通ネットワークや鉄道・道路等の交通結節点機能の強化を図り、多様で広域化する市民ニーズに対応する「広域連携都市」の形成を図ります。</p> <p data-bbox="1104 922 1424 948">②都市形成の基本的な考え方</p> <p data-bbox="1104 954 2089 1011">行政区域内の主な<u>5</u>つの市街地に、その成り立ちや地域産業との関わりから3つの種類の「拠点」に分類し、それぞれに適切な機能、役割分担を持たせます。</p> <p data-bbox="1104 1018 2089 1043">また、これら拠点を連絡する道路ネットワークの充実・強化を図ります。</p> <p data-bbox="1104 1114 1610 1139">a. 都市的アメニティ拠点（深川・広里市街地）</p> <p data-bbox="1104 1145 2089 1235">北空知地域における産業、文化、教育、医療、福祉等の高次都市機能が集約するセンターとしての役割を担う中心市街地です。市立総合病院の機能充実、これに合わせた市街地内歩行者系道路網の充実など、今後もこれら都市機能の充実・強化を図ります。</p> <p data-bbox="1104 1273 1912 1299">b. 田園型居住拠点（都市隣接住宅地……あけぼの市街地、音江市街地）</p> <p data-bbox="1104 1305 2089 1394">都市計画区域内に位置する住宅市街地です。周囲の豊かな農村環境を生かし、<u>宅地規模が広く、道路、公園、下水道などの基盤施設が整った</u>、緑豊かな住宅市街地として、<u>今後も都市的土地利用の推進、基盤施設の整備、維持管理を図ります</u>。</p>	<p data-bbox="2130 113 2168 177">旧P P6</p>

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）

c. 地域農業居住拠点（集落市街地……納内市街地、多度志市街地）

都市計画区域外に位置する集落市街地です。地域農業の拠点としてふさわしい日常生活機能を確保すると共に、農業とのふれあいや、農村空間を利用した市民との交流など、**集約された**都市と農業を結び交流空間としての機能の充実を図ります。

d. 広域的道路網

各市街地間を連絡する主要幹線道路、幹線道路によるネットワークの形成を図ります。

図 2-6 「広域連携都市」形成の基本的な考え方



旧 深川市都市計画マスタープラン

c. 地域農業居住拠点（集落市街地……納内市街地、多度志市街地）

都市計画区域外に位置する集落市街地です。地域農業の拠点としてふさわしい日常生活機能を確保すると共に、農業とのふれあいや、農村空間を利用した市民との交流など、都市と農業を結び交流空間としての機能の**充実・強化**を図ります。

d. 広域的道路網

各市街地間を連絡する主要幹線道路、幹線道路によるネットワークの形成を図ります。

図1-1-3 「広域連携都市」形成の基本的な考え方



新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P
<p data-bbox="107 225 1070 284">○将来都市像 3. 全ての人安心・快適に生活できる「あんしん生活都市」</p> <p data-bbox="91 320 320 347">①将来都市像の概念</p> <p data-bbox="91 355 1081 411">中心市街地である深川市街地は、北空知圏の中核としての官公庁施設や広域的な医療福祉施設が整備されており、市内外から多くの人達がこれら施設を利用します。</p> <p data-bbox="91 419 1081 544">これら施設を安心快適に利用するためには、各施設はもちろん、公共交通機関や歩道の段差解消を行うなど、バリア（障壁・障がい）を取り除いたり、今後、「<u>深川市バリアフリー基本構想</u>」に基づいた新たな施設整備におけるユニバーサルデザイン※の推進などが必要です。</p> <p data-bbox="91 579 1081 671">今後は、主要な公共公益施設を結ぶ歩道のネットワーク形成や公園緑地における施設整備などをおし、幼児や高齢者・障がいのある人など全ての人、安心・快適に生活できる「あんしん生活都市」の実現を図ります。</p> <p data-bbox="91 691 1081 783">※ユニバーサルデザイン： はじめから、全ての人にとって安全・安心で利用しやすいように、建物・製品・サービスなどを計画・設計する考え方</p> <p data-bbox="91 818 416 845">②都市形成の基本的な考え方</p> <p data-bbox="91 853 1081 946">「歩いていける距離」※および地域特性から市街地を大きく4つの地域に区分し、それぞれに適切な土地利用、基盤施設整備を行うことで、「あんしん生活都市」の形成を図ります。</p> <p data-bbox="91 994 1081 1086">※「歩いていける距離」： 地域に身近な公園として親しまれている、街区公園の誘致距離を参考に、直線距離で250mを「歩いていける距離」と設定しました。</p> <p data-bbox="91 1121 667 1149">a. 「歩いて楽しいまちづくり」を推進するゾーン</p> <p data-bbox="91 1157 1081 1249">公共公益施設が多く立地する深川市の「顔」となるゾーンとして、各種施設間を結ぶ歩道の整備、公園緑地や休憩スペースの整備、買い物施設の誘導、<u>景観に配慮したブロック舗装や無電柱化</u>などを図り、歩いて楽しいまちづくりを積極的に進めるゾーンです。</p> <p data-bbox="118 1313 902 1377">○中心市街地ゾーン（深川駅から直線距離で約500m以内の市街地） ○まちなか市街地ゾーン（深川駅から直線距離で約1km以内の市街地）</p>	<p data-bbox="1126 225 2089 284">○将来都市像 3. 全ての人安心・快適に生活できる「あんしん生活都市」</p> <p data-bbox="1111 320 1339 347">①将来都市像の概念</p> <p data-bbox="1111 355 2101 411">中心市街地である深川・広里市街地は、北空知圏の中核としての官公庁施設や広域的な医療福祉施設が整備されており、市内外から多くの人達がこれら施設を利用します。</p> <p data-bbox="1111 419 2101 512">これら施設を安心快適に利用するためには、各施設はもちろん、公共交通機関や歩道の段差解消を行うなど、バリア（障壁・障がい）を取り除いたり、今後新たな施設整備におけるユニバーサルデザインの推進などが必要です。</p> <p data-bbox="1111 520 2101 576">また、幹線道路沿道における駐車場整備など、多くの車が入り出りする場所における歩行者に対する配慮も必要です。</p> <p data-bbox="1111 584 2101 676">今後は、主要な公共公益施設を結ぶ歩道のネットワーク形成や公園緑地における施設整備などをおし、幼児や高齢者・障がいのある人など全ての人、安心・快適に生活できる「あんしん生活都市」の実現を図ります。</p> <p data-bbox="1111 818 1435 845">②都市形成の基本的な考え方</p> <p data-bbox="1111 853 2101 946">「歩いていける距離」および地域特性から市街地を大きく4つの地域に区分し、それぞれに適切な土地利用、基盤施設整備を行うことで、「あんしん生活都市」の形成を図ります。</p> <p data-bbox="1111 1121 1659 1149">a. 「歩いて楽しいまちづくり」を推進するゾーン</p> <p data-bbox="1111 1157 2101 1249">公共公益施設が多く立地する深川市の「顔」となるゾーンとして、各種施設間を結ぶ歩道の整備、公園緑地や休憩スペースの整備、買い物施設の誘導などを図り、歩いて楽しいまちづくりを積極的に進めるゾーンです。</p> <p data-bbox="1111 1257 2101 1313">このゾーンにおける詳しい内容は、第2編「地域まちづくりプロジェクト」において示します。</p> <p data-bbox="1133 1321 1910 1377">○中心市街地ゾーン（深川駅から直線距離で約500m以内の市街地） ○まちなか市街地ゾーン（深川駅から直線距離で約1km以内の市街地）</p>	P8

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）

b. 幹線道路からの安全なアクセスに配慮するゾーン

主要幹線道路沿道の市街地は、自動車利用での買い物などに利便性が高い市街地として、自動車と歩行者の交通の安全性に配慮した、商業業務・サービス施設の立地にふさわしい土地利用を図ります。

○沿道市街地ゾーン（深川市街地外縁部の主要幹線沿道）

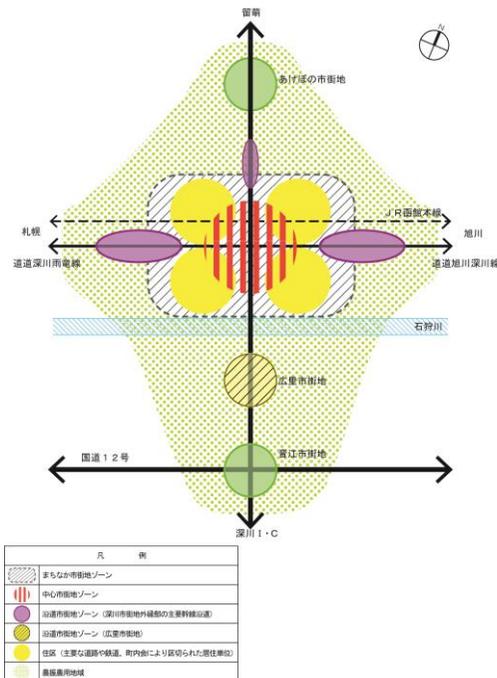
c. 市街地内の基盤施設の適切な整備、維持管理を行うゾーン

周囲を農地に囲まれた自然が豊かな環境と、深川市街地に近い利便性を兼ね備えた市街地として、市街地内の道路・公園・下水道施設など基盤施設の適切な整備、維持管理を行います。

○沿道市街地ゾーン（広里市街地）

○田園型居住拠点（あけぼの市街地、広里・音江市街地）

図 2-7 「あんしん生活都市」形成の基本的な考え方



旧 深川市都市計画マスタープラン

b. 幹線道路からの安全なアクセスに配慮するゾーン

主要幹線道路沿道の市街地は、自動車利用での買い物などに利便性が高い市街地として、自動車と歩行者の交通の安全性に配慮した、商業業務・サービス施設の立地にふさわしい土地利用を図ります。

○沿道市街地ゾーン（深川市街地外縁部の主要幹線沿道）

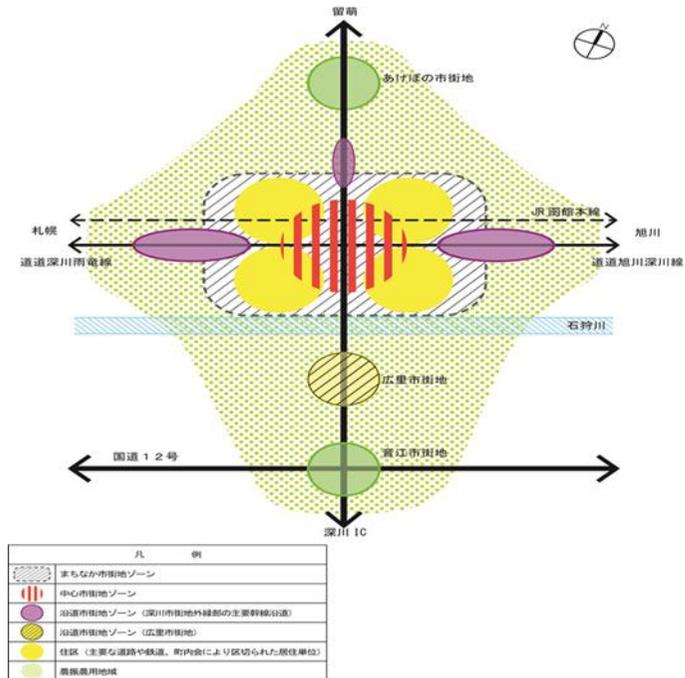
c. 市街地内の基盤施設の適切な整備、維持管理を行うゾーン

周囲を農地に囲まれた自然が豊かな環境と、深川市街地に近い利便性を兼ね備えた市街地として、市街地内の道路・公園・下水道施設など基盤施設の適切な整備、維持管理を行います。

○沿道市街地ゾーン（広里市街地）

○田園型居住拠点（あけぼの市街地、音江市街地）

図1-1-4 「あんしん生活都市」形成の基本的な考え方



旧P
P8

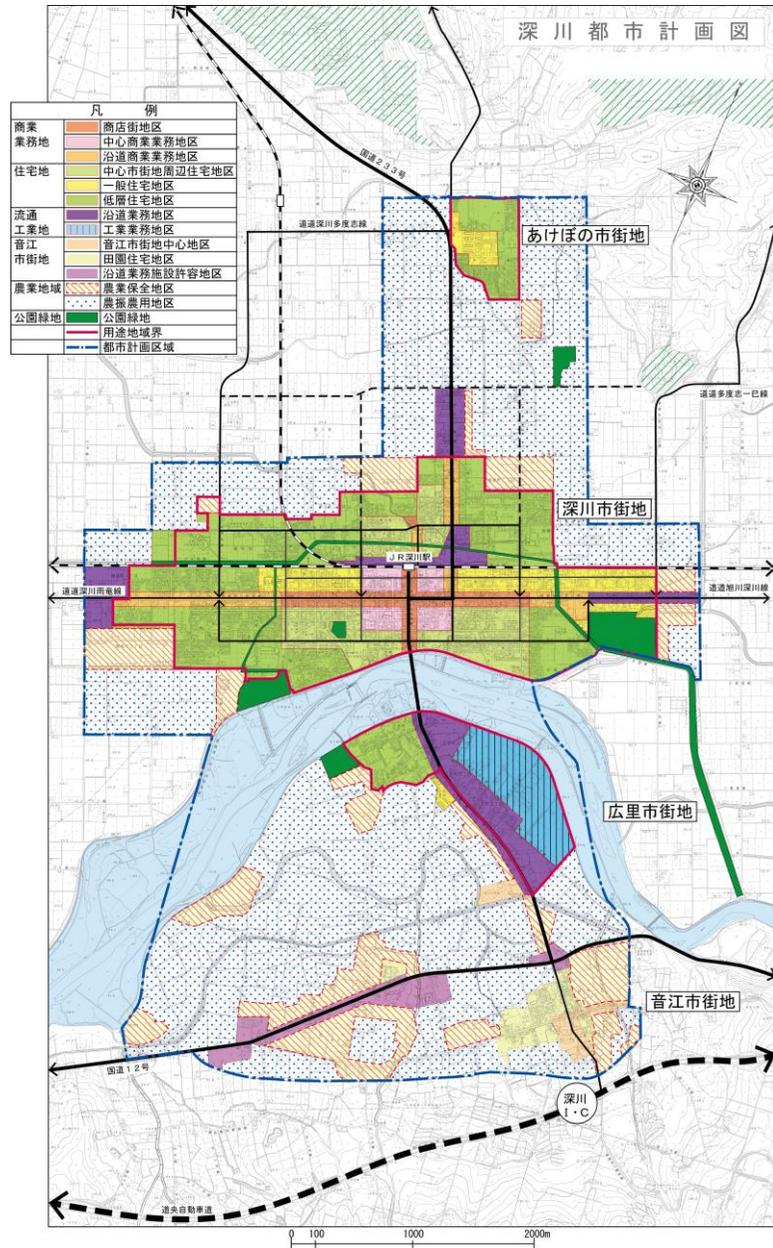
P9

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P
<p>3. 都市づくりの基本方針 (1) 土地利用の方針 本節では、内部充足型のまちづくりを基本としながら、先に示した将来都市像を実現するために、深川市が誘導する土地利用の方針を示します。</p> <p>①基本方針 a. 用途転換、用途純化又は用途の複合化に関する方針 時代の変化等により土地利用の状況が変化している地区においては、必要に応じた土地利用規制ができるように、用途規制の転換・純化・複合化を検討します。 また、コンパクトな市街地規模を実現するため、都市構造に合わせた用途の変更について柔軟な対応を図ります。 <u>特に市庁舎や健康福祉センターが立地する市庁舎周辺地区については、公共施設の集約によるコンパクトなまちづくりを推進するため、用途の変更を検討します。</u></p> <p>b. 居住環境の改善又は維持に関する方針 用途の混在や土地の細分化などの無秩序な土地利用を解消するため、地区計画制度の導入を検討するとともに、道路・公園・下水道などの都市基盤整備を進めるため、面的整備手法の導入も検討し、地区の安全性や利便性、ゆとりや潤いのある住宅地形成を図ります。</p> <p>c. 都市内の緑地又は都市の風致の維持に関する方針 郷土景観を構成する深川神社・大國神社をとりまく既存樹林地や石狩川河畔は、都市における良好な自然景観を有していることから、境内及びその周辺の樹木の保全に努めます。</p> <p>d. 良好な農地との健全な調和に関する方針 農振農用地区域や国・道営の土地改良事業など各種農業投資が実施されている区域、実施を予定している区域及び集团的農地などについては、健全な農業の維持と発展を図るためにも、今後とも優良な農地として、その保全に努めます。 <u>特に農用地区域については、農業上の利用を図るべき土地として用途地域拡大の対象とはしません。</u></p> <p>e. 都市型災害の防止と防災の観点から必要な市街化の抑制に関する方針 <u>近年の大雨や暴風、さらには地震など、災害に強い安全なまちづくりが必要であり、暴風や地震の発生時に電柱の倒壊を防止するため、市街地における無電柱化を推進します。</u> 溢水、湛水、がけ崩れその他による災害発生の可能性のある地区については、市街化を抑制し、緑化の促進や保全に努め、<u>深川市地域防災計画に基づき</u>、災害の防止を図ります。</p> <p>f. 計画的な都市的土地利用の実現に関する方針 豊かな自然環境を活かした「田園都市」を実現するため、農村環境と調和したコンパクトな市街地形成を目指し、土地利用に応じた用途指定、規制の検討を行います。</p>	<p>2. 都市づくりの基本方針 2-1.土地利用の方針 本節では、内部充足型のまちづくりを基本としながら、先に示した将来都市像を実現するために、深川市が誘導する土地利用の方針を示します。</p> <p>(1)基本方針 ①用途転換、用途純化又は用途の複合化に関する方針 時代の変化等により土地利用の状況が変化している地区においては、必要に応じた土地利用規制ができるように、用途規制の転換・純化・複合化を検討します。また、コンパクトな市街地規模を実現するため、都市構造に合わせた用途の変更を検討します。</p> <p>②居住環境の改善又は維持に関する方針 用途の混在や土地の細分化などの無秩序な土地利用を解消するため、地区計画制度の導入を検討するとともに、道路・公園・下水道などの都市基盤整備を進めるため、面的整備手法の導入も検討し、地区の安全性や利便性、ゆとりや潤いのある住宅地形成を図ります。</p> <p>③都市内の緑地又は都市の風致の維持に関する方針 郷土景観を構成する深川神社・大國神社をとりまく既存樹林地や石狩川河畔樹林は、都市における良好な自然景観を有していることから、<u>寺社仏閣の境内及びその周辺の樹木の保全に努めます。</u></p> <p>④良好な農地との健全な調和に関する方針 農振農用地区域や国・道営の土地改良事業など各種農業投資が実施されている区域、実施を予定している区域及び集团的農地などについては、健全な農業の維持と発展を図るためにも、今後とも優良な農地として、その保全に努めます。</p> <p>⑤災害防止の観点から必要な市街化の抑制に関する方針 災害に強い安全なまちづくりが必要であり、溢水、湛水、がけ崩れその他による災害発生の可能性のある地区については、市街化を抑制し、緑化の促進や保全に努め、災害の防止を図ります。</p> <p>⑥計画的な都市的土地利用の実現に関する方針 豊かな自然環境をいかした「田園都市」を実現するため、農村環境と調和したコンパクトな市街地形成を目指し、土地利用に応じた用途指定、規制の検討を行います。</p>	<p>P10</p>

新 深川市都市計画マスタープラン (たたき台)	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P																																										
<p>②地区別土地利用の方針</p> <p>都市計画区域は、深川市街地・あけぼの市街地・広里市街地・音江市街地及び周辺の農業地域で構成されており、それぞれにおける自然環境や社会環境に応じた土地利用の方針を示します。</p>	<p>(2) 地区別土地利用の方針</p> <p>都市計画区域は、深川市街地・あけぼの市街地・広里市街地・音江市街地及び周辺の農業地域で構成されており、それぞれにおける自然環境や社会環境に応じた土地利用の方針を示します。</p>	P10																																										
<p>表 2-4 土地利用の方針 (一覧表)</p>	<p>表1-2-1 土地利用の方針 (一覧表)</p>																																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 20%;">深川市街地</td> <td style="width: 20%;">住宅地</td> <td style="width: 80%;">中心市街地周辺住宅地区 一般住宅地区 低層住宅地区</td> </tr> <tr> <td>商業業務地</td> <td>商店街地区 中心商業業務地区 沿道商業業務地区</td> </tr> <tr> <td>流通工業地</td> <td>沿道業務地区</td> </tr> <tr> <td>あけぼの市街地</td> <td>住宅地</td> <td>一般住宅地区 低層住宅地区</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">広里市街地</td> <td>住宅地</td> <td>一般住宅地区 低層住宅地区</td> </tr> <tr> <td>流通工業地</td> <td>工業業務地区 沿道業務地区</td> </tr> <tr> <td>音江市街地</td> <td colspan="2">音江市街地中心地区 田園住宅地区 沿道業務施設許容地区</td> </tr> <tr> <td>周辺の農業地域</td> <td colspan="2">農業保全地区 農振農用地区</td> </tr> </table>	深川市街地	住宅地	中心市街地周辺住宅地区 一般住宅地区 低層住宅地区	商業業務地	商店街地区 中心商業業務地区 沿道商業業務地区	流通工業地	沿道業務地区	あけぼの市街地	住宅地	一般住宅地区 低層住宅地区	広里市街地	住宅地	一般住宅地区 低層住宅地区	流通工業地	工業業務地区 沿道業務地区	音江市街地	音江市街地中心地区 田園住宅地区 沿道業務施設許容地区		周辺の農業地域	農業保全地区 農振農用地区		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 20%;">深川市街地</td> <td style="width: 20%;">住宅地</td> <td style="width: 80%;">中心市街地周辺住宅地区 一般住宅地区 低層住宅地区</td> </tr> <tr> <td>商業業務地</td> <td>商店街地区 中心商業業務地区 沿道商業業務地区</td> </tr> <tr> <td>流通工業地</td> <td>沿道業務地区</td> </tr> <tr> <td>あけぼの市街地</td> <td>住宅地</td> <td>低層住宅地区 一般住宅地区</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">広里市街地</td> <td>住宅地</td> <td>一般住宅地区 低層住宅地区</td> </tr> <tr> <td>流通工業地</td> <td>工業業務地区 沿道業務地区</td> </tr> <tr> <td>音江市街地</td> <td colspan="2">音江市街地中心地区 田園住宅地区 沿道業務施設許容地区</td> </tr> <tr> <td>周辺の農業地域</td> <td colspan="2">住居系市街化保留地区 農業保全地区</td> </tr> </table>	深川市街地	住宅地	中心市街地周辺住宅地区 一般住宅地区 低層住宅地区	商業業務地	商店街地区 中心商業業務地区 沿道商業業務地区	流通工業地	沿道業務地区	あけぼの市街地	住宅地	低層住宅地区 一般住宅地区	広里市街地	住宅地	一般住宅地区 低層住宅地区	流通工業地	工業業務地区 沿道業務地区	音江市街地	音江市街地中心地区 田園住宅地区 沿道業務施設許容地区		周辺の農業地域	住居系市街化保留地区 農業保全地区		
深川市街地		住宅地	中心市街地周辺住宅地区 一般住宅地区 低層住宅地区																																									
		商業業務地	商店街地区 中心商業業務地区 沿道商業業務地区																																									
	流通工業地	沿道業務地区																																										
あけぼの市街地	住宅地	一般住宅地区 低層住宅地区																																										
広里市街地	住宅地	一般住宅地区 低層住宅地区																																										
	流通工業地	工業業務地区 沿道業務地区																																										
音江市街地	音江市街地中心地区 田園住宅地区 沿道業務施設許容地区																																											
周辺の農業地域	農業保全地区 農振農用地区																																											
深川市街地	住宅地	中心市街地周辺住宅地区 一般住宅地区 低層住宅地区																																										
	商業業務地	商店街地区 中心商業業務地区 沿道商業業務地区																																										
	流通工業地	沿道業務地区																																										
あけぼの市街地	住宅地	低層住宅地区 一般住宅地区																																										
広里市街地	住宅地	一般住宅地区 低層住宅地区																																										
	流通工業地	工業業務地区 沿道業務地区																																										
音江市街地	音江市街地中心地区 田園住宅地区 沿道業務施設許容地区																																											
周辺の農業地域	住居系市街化保留地区 農業保全地区																																											

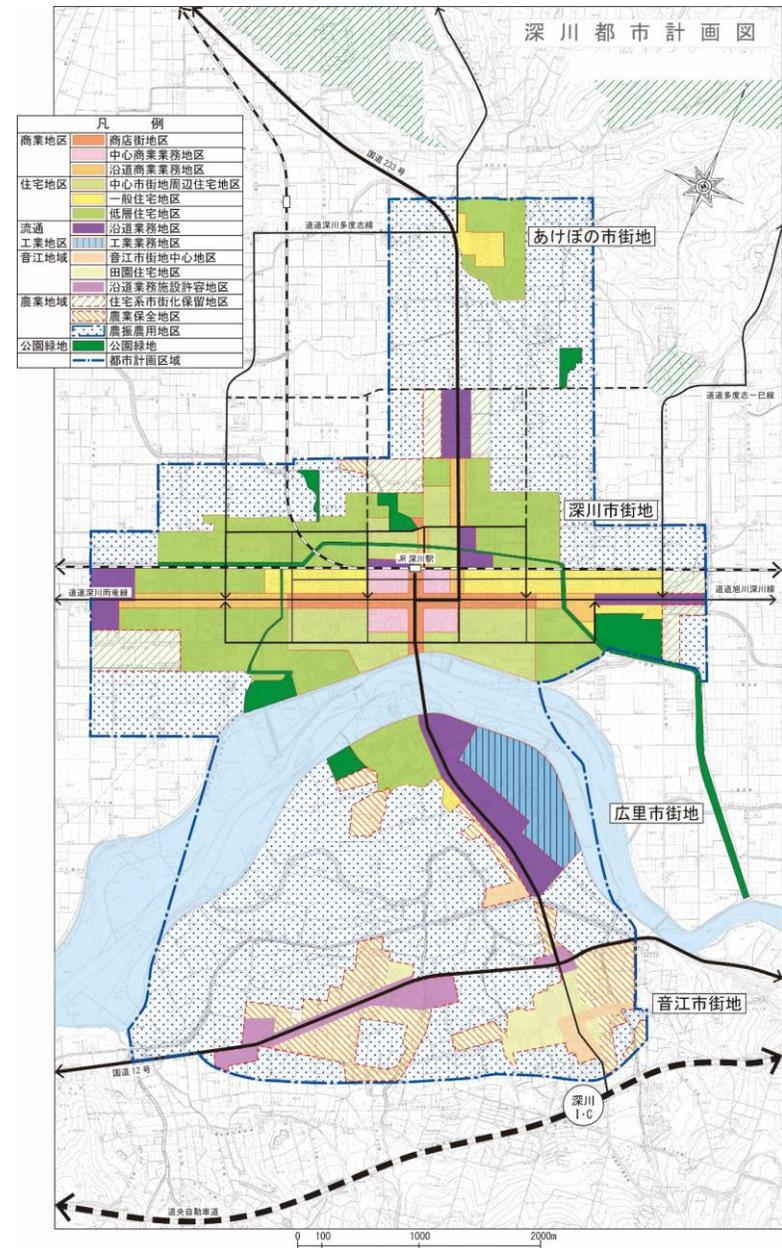
新 深川市都市計画マスタープラン (たたき台)

図 2-8 土地利用の方針



旧 深川市都市計画マスタープラン

図1-2-1 土地利用の方針

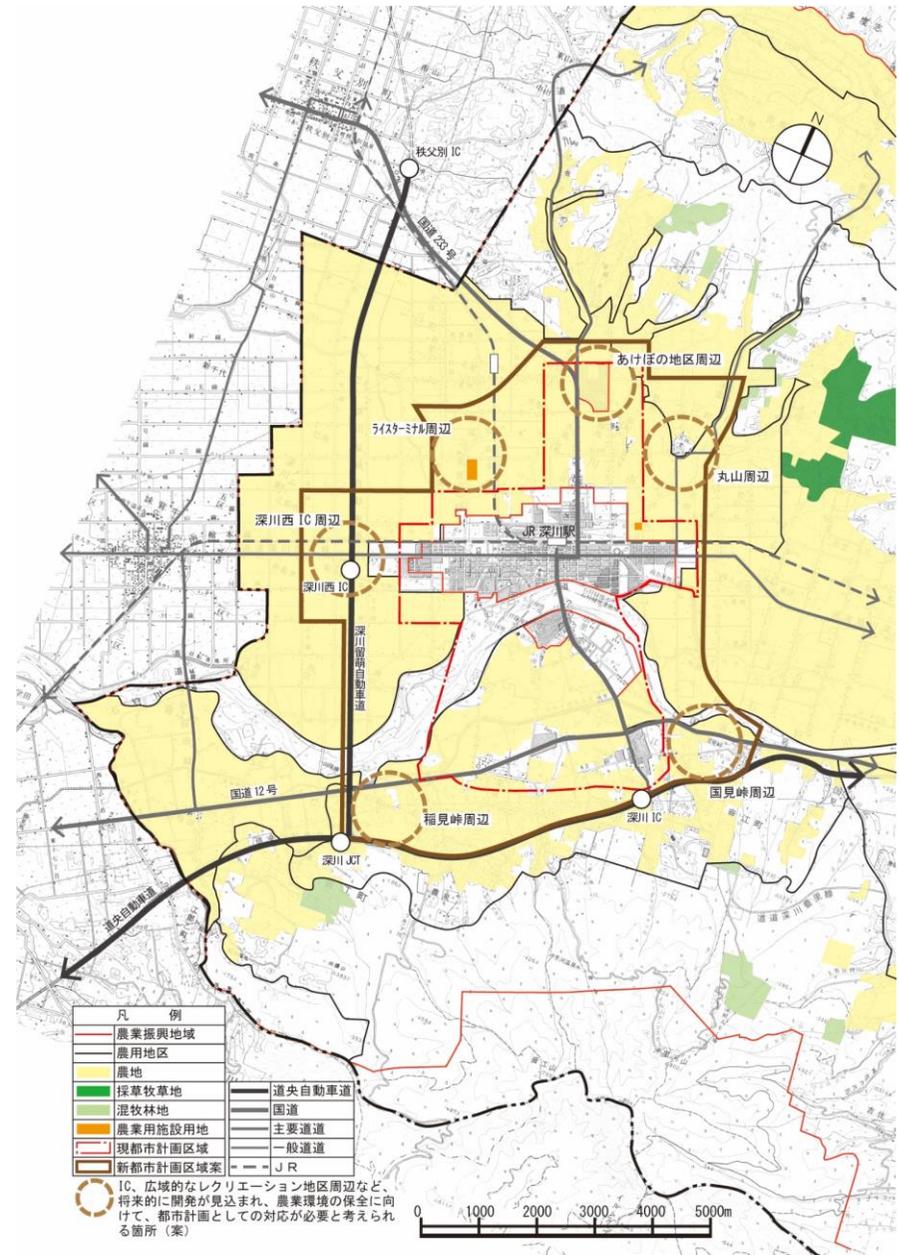


旧P
P11

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P P30
<p>③将来における都市計画の方向性</p> <p>a. 基本方針</p> <p>1. 宅地開発指導要綱などのルールづくり 開発行為において、周囲の農地と調和のとれた環境整備が行われるよう、駐車場の設置、道路、公園、下水道などの整備、建築の意匠などについて、まちづくりルールをつくります。</p> <p>2. 農振白地地区における土地利用の誘導 ■深川市街地周辺の農振白地地区 市街地の無秩序な拡大を抑制するため、主要幹線道路沿道の地域では、建物の建設にあたっては、容積率、建ぺい率を低く設定する等、特定の施設（大規模工業施設、大規模商業業務施設など）の立地を規制する方策についても検討します。（特定用途制限地域など） ■その他農業地域の農振白地地区 周囲の営農環境の維持保全を図るため、深川市街地周辺の農振白地地区と同様、特定用途制限地域などの方策について検討します。 <u>まとまりのある自然環境や田園風景の保全のため、農業にかかる土地利用との調整を図りながら、白地地区の開発は抑制することを基本とします。</u></p> <p>3. 市街地におけるきめ細かな土地利用の誘導 市街地地区においては、地域住民の合意により、街区ごとに宅地の土地利用・オープンスペースの確保・景観整備などについて、きめ細かなルールづくりを行うことができる、地区計画の導入に<u>向け、必要に応じた情報提供を行います。</u></p>	<p>2-4.将来における都市計画の方向性</p> <p>(1) 基本方針</p> <p>1.都市計画区域の見直し インターチェンジ周辺、主要幹線道路沿道など、将来大規模な商業業務施設や工業施設などの立地が想定される箇所は、都市計画区域内への編入を検討します。（詳しくは、次頁に示します）</p> <p>2.宅地開発指導要綱などのルールづくり 開発行為において、周囲の農地と調和のとれた環境整備が行われるよう、駐車場の設置、道路、公園、下水道などの整備、建築の意匠などについて、まちづくりルールをつくります。</p> <p>3.農振白地地区における土地利用の誘導 ■深川市街地周辺の農振白地地区 市街地の無秩序な拡大を抑制するため、主要幹線道路沿道の地域では、建物の建設にあたっては、容積率、建ぺい率を低く設定する等、特定の施設（大規模工業施設、大規模商業業務施設など）の立地を規制する方策についても検討します。（特定用途制限地域など） ■その他農業地域の農振白地地区 周囲の営農環境の維持保全を図るため、深川市街地周辺の農振白地地区と同様、容積率、建ぺい率を低く設定する等、特定用途制限地域などの方策について検討します。</p> <p>4.市街地におけるきめ細かな土地利用の誘導 市街地地区においては、地域住民の合意により、街区ごとに宅地の土地利用・オープンスペースの確保・景観整備などについて、きめ細かなルールづくりを行うことができる、地区計画の積極的な導入を検討します。</p> <p>5.準都市計画区域の検討 深川市においては、納内市街地と多度志市街地が想定されますが、現状の土地利用において、将来における都市としての整備、開発及び保全に支障が生じるとは認めがたいため、今後の土地利用に応じた対応を検討していきます。</p>	
	<p>*準都市計画区域： 都市計画法第5条の2で規定されている、都市計画区域外の区域のうち、そのまま土地利用を整理することなく放置すれば、将来における都市としての整備、開発及び保全に支障が生じるおそれがあると認められる区域を、市町村が準都市計画区域として指定して、都市計画法による土地利用規制を行う制度です。</p>	

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P P31
b. 都市計画区域指定の基本的な考え方		(2) 都市計画区域指定の基本的な考え方		
○ <u>現在の都市計画区域を維持し</u> 、良好な農村環境の維持発展、都市地域との調和を図ります。		○今後も良好な農村環境の維持発展、都市地域との調和を図るため、必要に応じて「都市計画区域」の見直しを検討します。		
概 況	<p>深川市街地周囲の豊かな水田などがもたらす良好な農村環境は、市民の財産であり、将来ともに維持発展が必要です。</p> <p>近年では、これら農業地に、農村環境の維持発展に必要な農業施設の立地や、農村との交流機能を果たす農村レストランなどの立地がみられていますが、今後も、周囲の農業の営農に悪影響がないよう、十分な配慮が必要です。また、インターチェンジ周辺に新たな土地需要の<u>可能性があります</u>。</p> <p>これらの地域は都市計画区域外となることが想定されますが、都市計画区域外においては、1haを下回る開発行為については開発行為許可申請が必要ないことから、雨水処理、周囲の環境への<u>悪影響などが懸念されます</u>。</p>	概 況	<p>深川市街地周囲の豊かな水田などがもたらす良好な農村環境は、市民の財産であり、将来ともに維持発展が必要です。</p> <p>近年では、これら農業地に、農村環境の維持発展に必要な農業施設の立地や、農村との交流機能を果たす農村レストランなどの立地がみられていますが、今後も、周囲の農業の営農に悪影響がないよう、十分な配慮が必要です。また、<u>今後道央自動車道の延伸に合わせ、インターチェンジ周辺に新たな土地需要が見込まれます</u>。</p> <p>これらの地域は都市計画区域外となることが想定されますが、都市計画区域外においては、1haを下回る開発行為については開発行為許可申請が必要ないことから、雨水処理、周囲の環境への配慮などについて行政指導、誘導が行われないのが実情です。</p>	
方 針	<p>①必要に応じて、適切な都市計画区域の範囲を検討します。</p> <p><u>コンパクト化の観点から現在の都市計画区域を保持しますが、新たな土地利用の拡大等により周囲の環境への悪影響などが懸念される場合は、都市計画法の概念に基づき、将来にわたる良好な農村環境を維持発展させるため、必要に応じて都市計画区域の範囲を慎重に検討します。</u></p> <p>②開発行為における、指導誘導体制の構築に努めます。</p> <p>開発行為の事前協議の体制、情報開示などについて、深川の農業をまもり、育てるためにも農地法による規制を含めた指導誘導体制の構築に<u>努めます</u>。</p>	方 針	<p>①必要に応じて、適切な都市計画区域の範囲を検討します。</p> <p>都市計画法の概念に基づき、将来にわたる良好な農村環境を維持発展させるため、必要に応じて都市計画区域の範囲を検討します。</p> <p>②開発行為における、指導誘導体制の構築に努めます。</p> <p>開発行為の事前協議の体制、情報開示、地域住民への意向反映手法などについて、深川の農業をまもり、育てるためにも農地法による規制を含めた指導誘導体制の構築について検討します。</p>	
*都市計画法における「都市計画区域の範囲」について		*都市計画法における「都市計画区域の範囲」について		
都市計画法では、「一体の都市として総合的に整備し、開発し、及び保全する必要がある区域を都市計画区域として指定する」となっています。市街地周囲の自然環境、農村環境を適切に維持保全するためにも、都市計画区域を指定することは重要な意義を持っています。		都市計画法では、「一体の都市として総合的に整備し、開発し、及び保全する必要がある区域を都市計画区域として指定する」となっています。市街地周囲の自然環境、農村環境を適切に維持保全するためにも、都市計画区域を指定することは重要な意義を持っています。		
都市計画区域に編入することで、3,000㎡を越える開発行為に対して許可申請が必要となり、道路、公園、下水道などの敷設について、行政が協議を行うことができるようになります。（都市計画区域外では、1ha以上の開発行為が許可申請対象となっています。）		都市計画区域に編入することで、3,000㎡を越える開発行為に対して許可申請が必要となり、道路、公園、下水道などの敷設について、行政が協議を行うことができるようになります。（都市計画区域外では、1ha以上の開発行為が許可申請対象となっています。）		
		<p>（参考）都市計画区域の基本的な考え方</p> <p>都市計画区域の範囲は、都市計画法に示す「一体の都市として総合的に整備し、開発し、及び保全する必要がある区域を都市計画区域として指定する」を鑑み、①建物がまとまりをもって立地している地区、②農業集配施設、レクリエーション施設など、多くの車や人の出入りがある箇所、③広域的な交通拠点周辺（IC）④主要な道路、河川などの構造物などを勘案し検討しました。</p>		

図1-2-6 都市計画区域の設定例



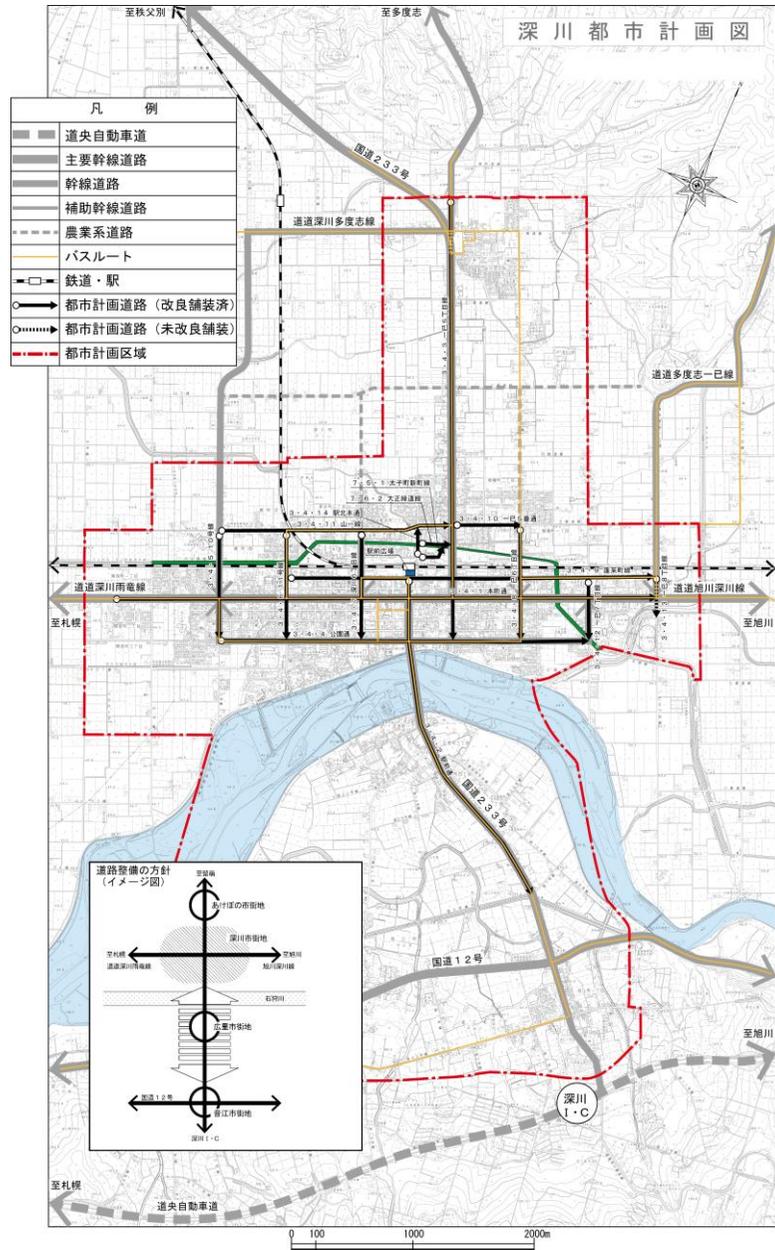
新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P P22
<p>(2) 道路・交通体系の方針 本節では、都市生活に必要な不可欠な基盤施設である、道路・交通体系の基本方針を示します。</p> <p>①基本方針</p> <p>a. 交通施設整備は、深川市の交通利便性を活かした「広域連携都市」の実現を目指し、広域的な交通に配慮した交通体系の形成を進めるとともに、都市内交通にも対応した交通体系の形成を図ります。 また、効率的、快適性のほか、安全性や環境との調和を考慮するとともに、障がいを持つ人も健常な人も、安全に目的地までスムーズに移動することができるように、「<u>深川市バリアフリー基本構想</u>」に基づき、総合的、一体的に進めます。</p> <p>b. <u>道路整備に際しては、防災や景観など様々な面で効果の高い無電柱化を推進してまいります。</u></p> <p>②道路・交通体系整備の方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○広域的な交通に配慮した交通体系の形成を図ります。 ○JR深川駅周辺を中心に、放射＋格子状の道路網をつくります。 ○歩行者・自転車交通ネットワークの形成やバリアフリー化を進めます。 ○「<u>深川市地域公共交通網形成計画</u>」に基づき、バス交通網を充実させ、利便性の高いまちづくりを行います。 </div>	<p>2-2.都市施設整備の方針 本節では、都市生活に必要な不可欠な基盤施設である、道路・下水道等の都市施設整備の基本方針を示します。 なお、公園・河川なども都市施設ではありますが、自然環境保全要因として第3節「自然環境と都市景観の方針」において記述することとします。</p> <p>(1)基本方針</p> <p>道路・下水道等の都市施設は、円滑な都市活動を支え、市民の利便性の向上を図り、良好な都市環境を確保するうえで必要な施設です。 現在、計画的に進められている都市施設整備を引き続き整備していくとともに、土地利用や自然・居住環境と整合性のとれた都市施設の配置を図ります。 都市施設の都市計画決定は、将来の都市施設整備の円滑な施行を確保するための建築制限を伴うことから、必要性及び区域、規模、構造等妥当性について、十分検討協議して決定するものとします。</p> <p>① 交通施設整備は、深川市の交通利便性を活かした「広域連携都市」の実現を目指し、広域的な交通に配慮した交通体系の形成を進めるとともに、都市内交通にも対応した交通体系の形成を図ります。 また、効率的、快適性のほか、安全性や環境との調和を考慮するとともに、障がいを持つ人も健常な人も、安全に目的地までスムーズに移動することができるように、総合的、一体的に進めます。</p> <p>② 下水道は、生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び浸水の防除を図り、都市の健全な発展と衛生環境の向上に資することから、整備を促進します。</p> <p>③ 資源循環型社会の形成を目指し、ごみの減量化・資源化を一層推進するため、適正に処理する施設の整備と処理システムの構築を、近隣市町村と連携を取りながら推進します。</p> <p>(2)道路・交通体系整備の方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○広域的な交通に配慮した交通体系の形成を図ります。 ○JR深川駅周辺を中心に、放射＋格子状の道路網をつくります。 ○歩行者・自転車交通ネットワークの形成やバリアフリー化を進めます。 ○バス交通網を充実させ、利便性の高いまちづくりを行います。 </div>	

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P P23
概況	<p>市街地の主要な交通は、自動車、鉄道、バス、<u>自転車</u>の4種類です。</p> <p>市街地内の自動車交通網は、国道12号、国道233号、主要道道旭川深川線、主要道道深川雨竜線による放射状の道路網を骨格とし、格子状に配置された都市計画道路網がそれを補完することで、円滑な自動車交通網を確立しています。</p> <p>市街地は、鉄道、河川により幾つかの市街地に分断されており、これらの市街地を円滑に結ぶ交通網の確立が課題となっています。</p> <p>都市計画道路の整備は年次計画で進められていますが、道路のバリアフリー化において、今後の再整備が必要です。</p> <p><u>都市計画道路については、概ね計画通りの整備が進められていますが、未着手となっている区間がある道路については、都市計画道路としての見直しについても検討します。</u></p> <p>また都市計画道路以外の道路においては、歩道未整備箇所も多く、高齢者社会における安全・快適な歩行空間の確保が求められています。</p> <p>道路はもちろん、鉄道やバスなどの公共交通機関を含めた都市交通が、誰もが使いやすいものとなっていることが必要です。</p>	概況	<p>市街地の主要な交通は、自動車、鉄道、バスの3種類です。</p> <p>市街地内の自動車交通網は、国道12号、国道233号、主要道道旭川深川線、主要道道深川雨竜線による放射状の道路網を骨格とし、格子状に配置された都市計画道路網がそれを補完することで、円滑な自動車交通網を確立しています。</p> <p>市街地は、鉄道、河川により幾つかの市街地に分断されており、これらの市街地を円滑に結ぶ交通網の確立が課題となっています。</p> <p>都市計画道路の整備は年次計画で進められていますが、道路のバリアフリー化において、今後の再整備が必要です。</p> <p>また都市計画道路以外の道路においては、歩道未整備箇所も多く、高齢者社会における安全・快適な歩行空間の確保が求められています。</p> <p>道路はもちろん、鉄道やバスなどの公共交通機関を含めた都市交通が、誰もが使いやすいものとなっていることが必要です。</p>	
道路の整備方針	<p><u>JR</u>深川駅周辺を中心に、放射＋格子状の道路網の形成を図ります。</p> <p>道路の性格に合わせ、適切な段階構成を形成するよう、道路網を以下に示すように設定します。</p> <p>① 深川市は、札幌市を中心とする道央と旭川市を中心とする道北方面、及び留萌方面との分岐点にあることから、都市間の連携を支える高速交通ネットワークの形成を図り、アクセス道路の整備を進めます。</p> <p>② 北空知圏の中核都市として周辺都市との有機的な連携を図るため、自動車専用道路、主要幹線道路等の主要な道路整備を図ります。</p> <p>③ 市街地内の各地域の交通を円滑に処理するため、幹線道路を格子状に配置し、整備を図ります。</p> <p>④ 住区レベルの主要な道路として、補助幹線道路の整備を図り、<u>土地利用に合わせたコンパクトな市街地形成のための良好な居住環境を創出します。</u></p>	道路の整備方針	<p>深川駅周辺を中心に、放射＋格子状の道路網の形成を図ります。</p> <p>道路の性格に合わせ、適切な段階構成を形成するよう、道路網を以下に示すように設定します。</p> <p>① 深川市は、札幌市を中心とする道央と旭川市を中心とする道北方面、及び留萌方面との分岐点にあることから、都市間の連携を支える高速交通ネットワークの形成を図り、アクセス道路の整備を進めます。</p> <p>② 北空知圏の中核都市として周辺都市との有機的な連携を図るため、自動車専用道路、主要幹線道路等の主要な道路整備を図ります。</p> <p>③ 市街地内の各地域の交通を円滑に処理するため、幹線道路を格子状に配置し、整備を図ります。</p> <p>④ <u>現在、深川市街地と広里・音江市街地を結ぶ幹線道路は、国道233号の深川橋1本です。広里・音江市街地と深川市街地を円滑に結び、広里工業団地をはじめとする都市的土地利用地の利用促進を図るため、また、災害などの有事の際への対策として、深川橋の拡幅整備や、新橋整備など、幹線道路網の強化充実を図ります。</u></p> <p>⑤ 住区レベルの主要な道路として、補助幹線道路の整備を図ります。特に深川市街地のJR函館本線北側地区は、<u>コンパクト市街地形成のための良好な居住環境を創出するために土地利用に合わせた区画道路の整備を図ります。</u></p>	

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P P23
道路の整備方針	<p>⑤ 広里市街地においては、土地利用に合わせて工業団地にふさわしい幹線道路整備を図ります。</p> <p>⑥ 高齢者社会に対応するとともに、障がいを持つ人も健全な人も安全で快適な通行を確保するため、<u>バリアフリー基本構想に基づき</u>、歩行者や自転車交通のネットワークの形成やバリアフリー化を進めます。</p>	道路の整備方針	<p>⑥ 広里市街地においては、土地利用に合わせて工業団地にふさわしい幹線道路整備を図ります。</p> <p>⑦ 高齢者社会に対応するとともに、障がいを持つ人も健全な人も安全で快適な通行を確保するため、歩行者や自転車交通のネットワークの形成やバリアフリー化を進めます。中心市街地における歩行者系道路網についての考え方は、第2編地域まちづくりプロジェクト「2. 人と環境にやさしいまちづくり・緑づくりプロジェクト」に示します。</p>	
その他交通施設の整備方針	<p>○ 道路と鉄道等の公共交通機関との交通結節点の機能強化を図り、乗換えの利便性向上や歩行者動線に配慮した施設の配置を検討します。また、<u>JR深川</u>駅北地区においては、自由通路の開通により駅前地区との歩行者動線は確保されており、道路整備に合わせた交通結節点としての<u>JR深川</u>駅北広場の活用を図ります。</p> <p>○ 自動車駐車場は、道路と一体となって円滑な自動車交通を支える重要な都市施設であり、都市に自動車を導き入れる上でも必要な施設です。自動車駐車場には、公共駐車場、附置義務駐車場など、その種類・運営主体等が多種多様ですが、市街地の土地利用に応じて適正に配置できるように検討します。</p> <p>○ 自転車交通は、買い物等の近距離移動や通勤通学時などにおける公共交通の端末交通手段として重要である一方、駅等の公共交通と自転車交通の結節点周辺における多数の放置自転車は、歩行者等の安全かつ快適な通行を阻害する等の問題を起こしており、自転車駐車場の適正な設置について検討します。</p> <p>○ 市街地内の有効な交通手段であるバス交通については、適宜バスベイなどの停車しやすい構造として道路網を整備するとともに、利用しやすい公共交通の確保など、高齢者や障がいのある人においても利便性の高いまちづくりを検討します。</p> <p>○ 鉄道やバスの乗り降りにあたっては、段差がない、わかりやすいなど、全ての人に利用しやすいものになるよう、整備改善を進めます。</p> <p>○ 冬季における歩道の除排雪など、生活道路としての機能確保に努めます。</p>	その他交通施設の整備方針	<p>○ 道路と鉄道やバスターミナル等の公共交通機関との交通結節点の機能強化を図り、乗換えの利便性向上や歩行者導線に配慮した施設の配置を検討します。また、駅北地区においては、自由通路の開通により駅前地区との歩行者導線は確保されていますが、車両交通のアクセス整備がなされていないため、道路整備に合わせた交通結節点としての駅北交通広場の整備を図ります。</p> <p>○ 自動車駐車場は、道路と一体となって円滑な自動車交通を支える重要な都市施設であり、都市に自動車を導き入れる上でも必要な施設です。自動車駐車場には、公共駐車場、附置義務駐車場など、その種類・運営主体等が多種多様ですが、市街地の土地利用に応じて適正に配置できるように検討します。</p> <p>○ 自転車交通は、買い物等の近距離移動や通勤通学時などにおける公共交通の端末交通手段として重要である一方、駅・バスターミナル等の公共交通と自転車交通の結節点周辺における多数の放置自転車は、歩行者等の安全かつ快適な通行を阻害する等の問題を起こしており、自転車駐車場の適正な設置について検討します。</p> <p>○ 市街地内の有効な交通手段であるバス交通については、適宜バスベイなどの停車しやすい構造として道路網を整備するとともに、利用しやすい公共交通の確保など、高齢者や障がいのある人においても利便性の高いまちづくりを検討します。</p> <p>○ 鉄道やバスの乗り降りにあたっては、段差がない、わかりやすいなど、全ての人に利用しやすいものになるよう、整備改善を進めます。</p> <p>○ 冬季における歩道の除排雪など、生活道路としての機能確保に努めます。</p>	

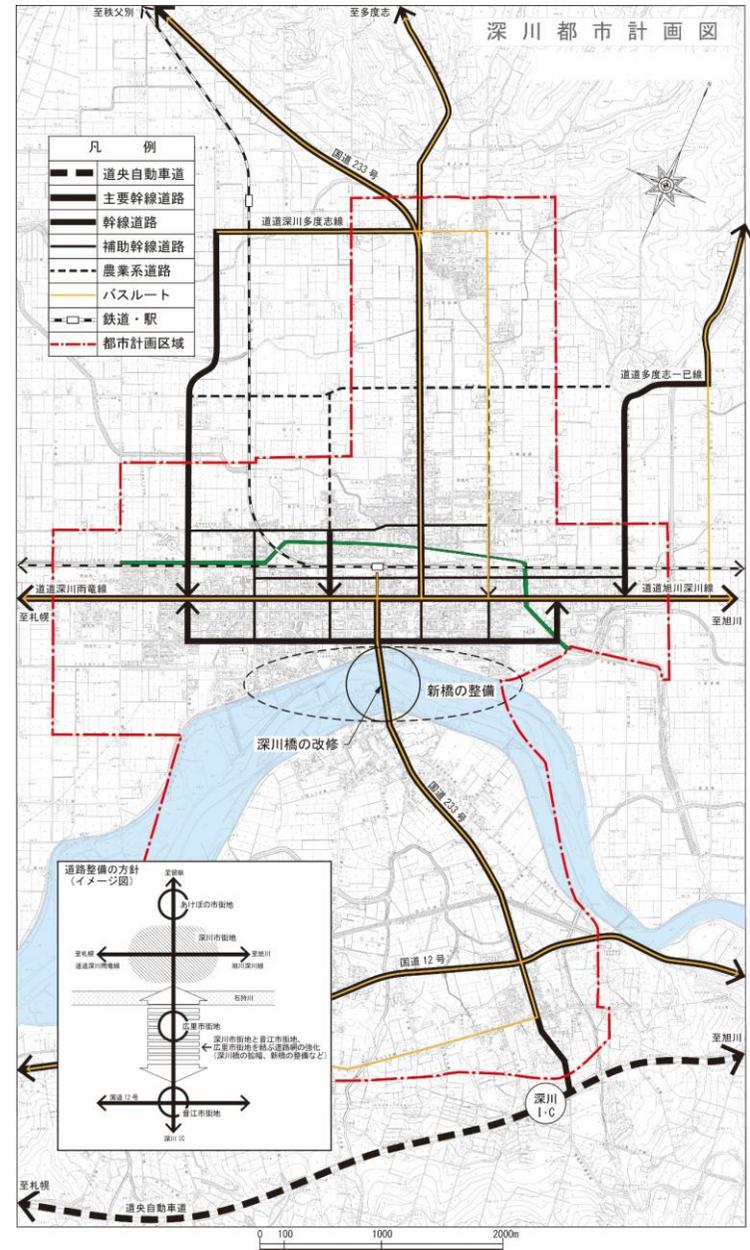
新 深川市都市計画マスタープラン (たたき台)

図 2-9 道路整備の方針



旧 深川市都市計画マスタープラン

図1-2-2 道路整備の方針



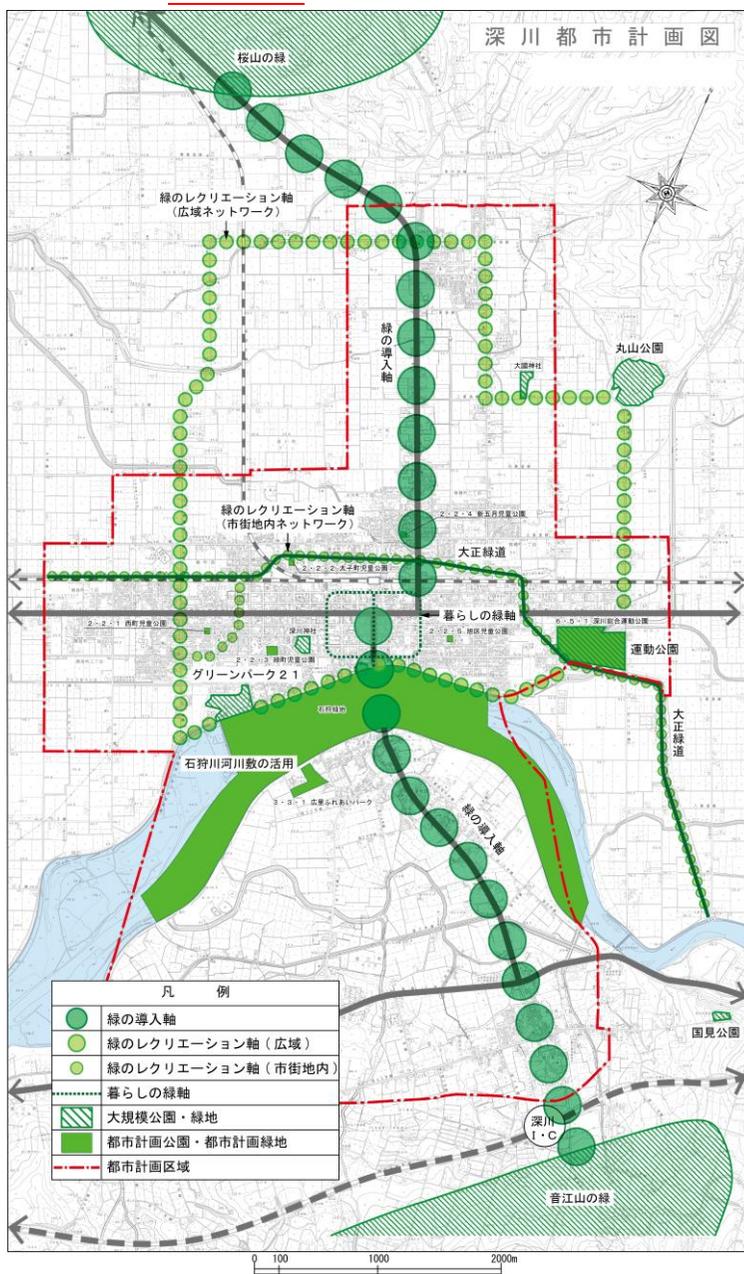
旧P
P24

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P P28
<p>(3) 自然環境と都市景観の方針 本節では、都市生活に憩い・潤い・安らぎをもたらす、自然環境の保全と都市景観形成の基本方針を示します。</p> <p>①基本方針 深川市は、周囲を山地や水田で取り囲まれた自然豊かな都市です。「田園都市」を将来像として掲げるように、豊かな自然景観を保全・活用しながら、都市機能と田園景観が調和のとれる整備を図ります。</p> <p>a. 環境保全・レクリエーション・防災・景観構成各系統における機能が総合的に発揮され、緑のネットワークを形成するように公園・緑地などを適正に配置し、整備保全に努めます。</p> <p>b. 自然性に富んだ緑地や、風致の維持、良好な景観形成に資する緑地の保全に努めます。</p> <p>c. 河川は、雨水幹線などの流末や治水対策の上からも防災機能を有する都市施設ですが、都市においては、水辺空間と親水機能を持った大切な空間となっています。河川の沿線は、都市内を流れる重要な緑空間として、自然環境を保全するとともに活用を図ります。</p> <p>d. <u>都市緑地保全法に基づき策定した「深川市緑の基本計画」に基づき、緑の保全、創出に関する施策をより総合的かつ計画的に進めるとともに、自然を活かした景観形成を図ります。</u></p> <p>②「水と緑」整備の方針</p> <div data-bbox="129 858 1079 959" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○市街地周囲の豊かな緑を保全活用します。 ○市街地内の公園緑地をつないだ「水と緑のネットワーク」の形成を図ります。</p> </div>	<p>2-3.自然環境と都市景観の方針 本節では、都市生活に憩い・潤い・安らぎをもたらす、自然環境の保全と都市景観形成の基本方針を示します。</p> <p>(1)基本方針 深川市は、周囲を山地や水田で取り囲まれた自然豊かな都市です。「田園都市」を将来像として掲げるように、豊かな自然景観を保全・活用しながら、都市機能と田園景観が調和のとれる整備を図ります。</p> <p>① 環境保全・レクリエーション・防災・景観構成各系統における機能が総合的に発揮され、緑のネットワークを形成するように公園・緑地などを適正に配置し、整備保全に努めます。</p> <p>② 自然性に富んだ緑地や、風致の維持、良好な景観形成に資する緑地の保全に努めます。</p> <p>③ 河川は、雨水幹線などの流末や治水対策の上からも防災機能を有する都市施設ですが、都市においては、水辺空間と親水機能を持った大切な空間となっています。河川の沿線は、都市内を流れる重要な緑空間として、自然環境を保全するとともに活用を図ります。</p> <p>④ <u>緑の保全、創出に関する施策をより総合的かつ計画的に進めるため、都市緑地保全法に基づく緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画（以下「緑の基本計画」という。）などの策定に努めます。</u> <u>また、自然をいかした景観形成を図ります。</u></p> <p>(2)「水と緑」整備の方針</p> <div data-bbox="1137 858 2092 959" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○市街地周囲の豊かな緑を保全活用します。 ○市街地内の公園緑地をつないだ「水と緑のネットワーク」の形成を図ります。</p> </div>	

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P P28
概況	<p>深川における緑地の形態は、市街地南部及び東部から北部にかけて取り囲むように展開する丘陵山地と、中央を流れる石狩川や堺川の河川空間を骨格とする、豊かな自然環境を成しています。</p> <p>深川市街地内には、街区公園・深川総合運動公園・石狩緑地などの都市公園がありますが、鉄道や幹線道路、河川などによる分断で、都市公園の種別に応じた誘致距離の連携が取れていない箇所もあります。</p> <p>また、市街地周囲には、丸山・桜山・国見公園・音江山麓などの市民の身近な公園・緑地が位置し、休日などには多くの市民で賑わいますが、各公園・緑地への適切な交通の確保が課題となっています。</p>	概況	<p>深川における緑地の形態は、市街地南部及び東部から北部にかけて取り囲むように展開する丘陵山地と、中央を流れる石狩川や堺川の河川空間を骨格とする、豊かな自然環境を成しています。</p> <p>深川市街地内には、街区公園・深川総合運動公園・石狩緑地などの都市公園がありますが、鉄道や幹線道路、河川などによる分断で、都市公園の種別に応じた誘致距離の連携が取れていない箇所もあります。</p> <p>また、市街地周囲には、丸山・桜山・国見公園・音江山麓などの市民の身近な公園・緑地が位置し、休日などには多くの市民で賑わいますが、各公園・緑地への適切な交通の確保が課題となっています。</p>	
整備方針	<p>① 多様なレクリエーション活動、災害発生時の復旧活動の拠点などとして機能する都市基幹公園、地域の特性を活かした多彩な住区基幹公園・緑地などの適正な配置・整備を図ります。</p> <p>② 市街地内には、土地利用に応じた誘致距離などを勘案し、街区公園などの適切な整備を図ります。</p> <p>③ 人通りが多い中心市街地には、各種公共施設を結ぶ「暮らしの緑の軸」として、街路樹のある歩道空間やポケットパーク等の整備により、安心・安全に各種施設に移動できる環境整備を図ります。</p> <p>④ 市街地周囲に位置する丸山・桜山・音江山麓などの、レクリエーション施設と市街地を連絡する道路を「緑のレクリエーション軸（広域）」と位置づけ、ジョギングやサイクリングなどを楽しめる歩道や公園・緑地の整備を図ります。</p> <p>⑤ 石狩川・堺川などの河川空間や幹線道路の道路空間、大正緑道などの緑を「緑のレクリエーション軸（市街地）」と位置づけ、日々のウォーキングなどの身近な水と緑のレクリエーション空間として、歩道や公園・緑地の整備を図ります。</p> <p>⑥ 「石狩川（下流）河川整備計画（北海道開発局）」に基づく石狩川の治水対策を推進します。</p> <p>⑦ 「緑の基本計画」などを踏まえ、公園・緑地などの都市施設、緑の計画的な整備・保全を図ります。</p>	整備方針	<p>① 多様なレクリエーション活動、災害発生時の復旧活動の拠点などとして機能する都市基幹公園、地域の特性を活かした多彩な住区基幹公園・緑地などの適正な配置・整備を図ります。</p> <p>② 市街地内には、土地利用に応じた誘致距離などを勘案し、街区公園などの適切な整備を図ります。</p> <p>③ 人通りが多い中心市街地には、各種公共施設を結ぶ「暮らしの緑の軸」として、街路樹のある歩道空間やポケットパーク等の整備により、安心・安全に各種施設に移動できる環境整備を図ります。</p> <p>④ 市街地周囲に位置する丸山・桜山・音江山麓などの、レクリエーション施設と市街地を連絡する道路を「緑のレクリエーション軸（広域）」と位置づけ、ジョギングやサイクリングなどを楽しめる歩道や公園・緑地の整備を図ります。</p> <p>⑤ 石狩川・堺川などの河川空間や幹線道路の道路空間、大正緑道などの緑を「緑のレクリエーション軸（市街地）」と位置づけ、日々のウォーキングなどの身近な水と緑のレクリエーション空間として、歩道や公園・緑地の整備を図ります。</p> <p>⑥ 「緑の基本計画」などを踏まえ、公園・緑地などの都市施設、風致地区などの地域地区の指定を行い、緑の計画的な整備・保全を図ります。</p>	

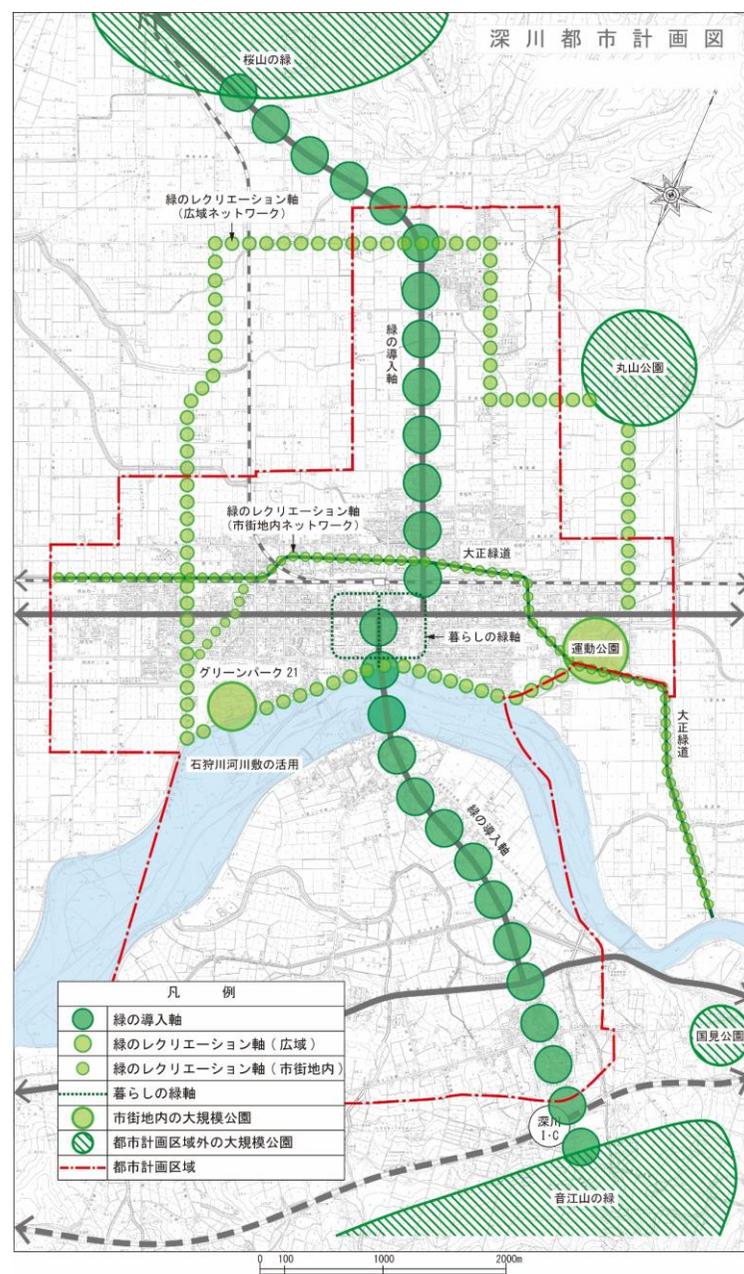
新 深川市都市計画マスタープラン (たたき台)

図 2-10 「水と緑」 整備の方針



旧 深川市都市計画マスタープラン

図1-2-5 「水と緑」 整備の方針



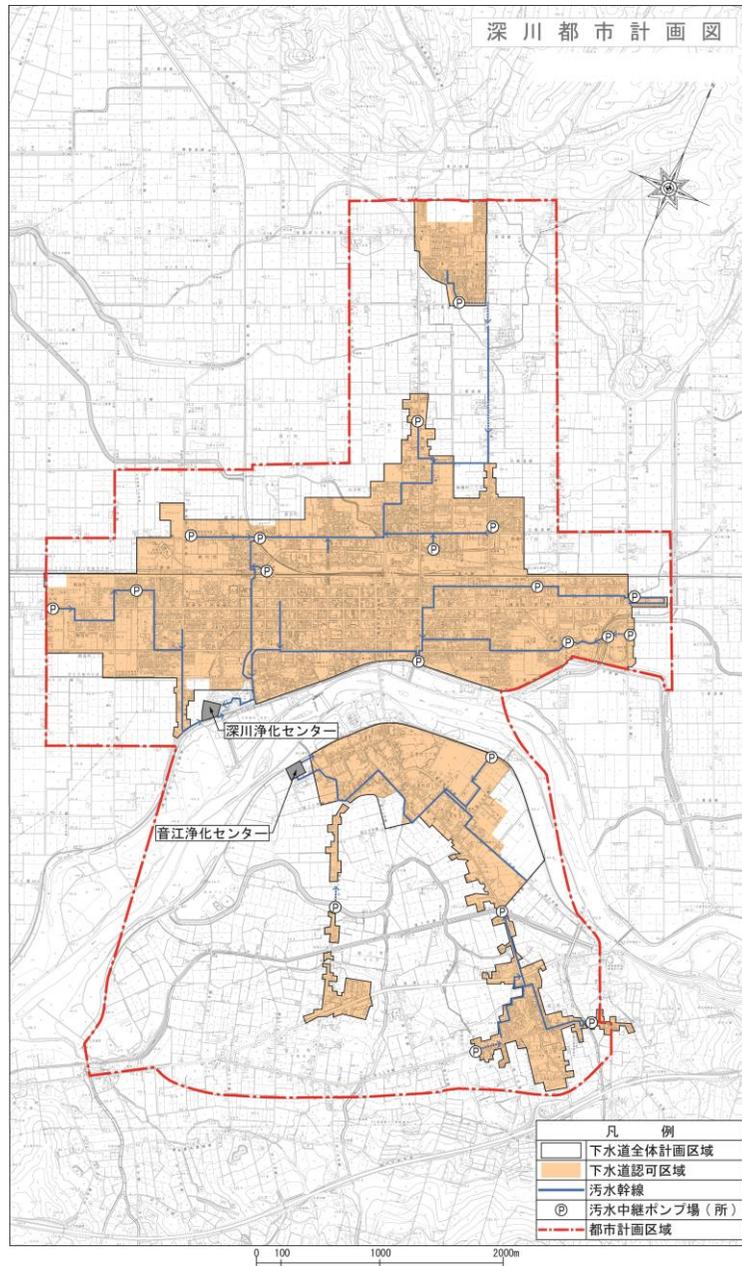
新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P
<p>③都市景観の形成方針</p> <p>田園風景は、周囲の山々や市街地中央を流れる石狩川と相まって、深川市の都市景観の大きな要因となっています。</p> <p>また、既存樹林や公園緑地、建築物や屋外広告物なども都市景観の構成要素となっています。</p> <p>「田園都市」として、自然・農村環境と調和のとれたまちづくりを進める上からも、良好な都市景観の保全・創造を図る必要があります。</p> <p>豊かな自然と田園風景は、深川市の大きな景観財産であり、深川らしい景観について市民の認識を深め、景観形成に対する意識高揚を図ります。</p> <p>また、都市機能のほどよい集積を図りながら、コンパクトな市街地形成にあたって、深川らしさを活かした市民が誇りと愛着のもてる景観形成を推進します。</p>	<p>(3) 都市景観の形成方針</p> <p>田園風景は、周囲の山々や市街地中央を流れる石狩川と相まって、深川市の都市景観の大きな要因となっています。</p> <p>また、既存樹林や公園緑地、建築物や屋外広告物なども都市景観の構成要素となっています。</p> <p>「田園都市」として、自然・農村環境と調和のとれたまちづくりを進める上からも、良好な都市景観の保全・創造を図る必要があります。</p> <p>豊かな自然と田園風景は、深川市の大きな景観財産であり、深川らしい景観について市民の認識を深め、景観形成に対する意識高揚を図ります。</p> <p>また、都市機能のほどよい集積を図りながら、コンパクトな市街地形成にあたって、深川らしさをいかした市民が誇りと愛着のもてる景観形成を図るため、景観形成のルールづくりに向けて、市民と協働で研究を進めます。</p>	<p>P30</p>

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P
<p data-bbox="107 151 448 175">（４）下水道・処理施設の方針</p> <p data-bbox="94 183 1084 242">本節では、都市生活に必要な不可欠な基盤施設である、<u>下水道・処理施設</u>整備の基本方針を示します。</p> <p data-bbox="94 343 224 367">①基本方針</p> <p data-bbox="94 794 1084 853">a. 下水道は、生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び浸水の防除を図り、都市の健全な発展と衛生環境の向上に資することから、整備を促進します。</p> <p data-bbox="94 861 1084 949">b. 資源循環型社会の形成を目指し、ごみの減量化・資源化を一層推進するため、適正に処理する施設の整備と処理システムの構築を、近隣市町村と連携を取りながら推進します。</p>	<p data-bbox="1108 151 1388 175">2-2.都市施設整備の方針</p> <p data-bbox="1108 183 2101 242">本節では、都市生活に必要な不可欠な基盤施設である、<u>道路・下水道等の都市施設整備</u>の基本方針を示します。</p> <p data-bbox="1108 247 2101 306">なお、<u>公園・河川なども都市施設ではありますが</u>、自然環境保全要因として第3節「<u>自然環境と都市景観の方針</u>」において記述することとします。</p> <p data-bbox="1108 343 1254 367">（1）基本方針</p> <p data-bbox="1108 375 2101 434"><u>道路・下水道等の都市施設は、円滑な都市活動を支え、市民の利便性の向上を図り、良好な都市環境を確保するうえで必要な施設です。</u></p> <p data-bbox="1108 438 2101 497"><u>現在、計画的に進められている都市施設整備を引き続き整備していくとともに、土地利用や自然・居住環境と整合性のとれた都市施設の配置を図ります。</u></p> <p data-bbox="1108 502 2101 593"><u>都市施設の都市計画決定は、将来の都市施設整備の円滑な施行を確保するための建築制限を伴うことから、必要性及び区域、規模、構造等妥当性について、十分検討協議して決定するものとします。</u></p> <p data-bbox="1108 598 2101 689">① <u>交通施設整備は、深川市の交通利便性をいかした「広域連携都市」の実現を目指し、広域的な交通に配慮した交通体系の形成を進めるとともに、都市内交通にも対応した交通体系の形成を図ります。</u></p> <p data-bbox="1131 694 2101 785">また、<u>効率的、快適性のほか、安全性や環境との調和を考慮するとともに、障がいを持つ人も健常な人も、安全に目的地までスムーズに移動することができるように、総合的、一体的に進めます。</u></p> <p data-bbox="1108 790 2101 849">② <u>下水道は、生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び浸水の防除を図り、都市の健全な発展と衛生環境の向上に資することから、整備を促進します。</u></p> <p data-bbox="1108 853 2101 944">③ <u>資源循環型社会の形成を目指し、ごみの減量化・資源化を一層推進するため、適正に処理する施設の整備と処理システムの構築を、近隣市町村と連携を取りながら推進します。</u></p>	<p data-bbox="2123 151 2175 175">旧P</p> <p data-bbox="2123 183 2175 207">P22</p>

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P P25
②下水道・処理施設整備の方針		(3) 処理施設整備の方針		
○資源循環型社会の形成を目指し、適切な処理施設整備を行います。		○資源循環型社会の形成を目指し、適切な処理施設整備を行います。		
概況	<p>■下水道</p> <p>下水道は、市街地における浸水の防除や、河川などの公共用水域の水質保全など、快適で衛生的な生活環境を形成するために不可欠な施設です。</p> <p>都市計画区域内における公共下水道は、昭和47年に事業認可を受け、現在は汚水788haの認可を受けており、下水道普及率（実施）*は76.0%となっています。</p> <p>■処理施設</p> <p>資源循環型社会の形成を目指し、ごみの減量化・資源化を一層推進することが必要です。</p> <p>ごみ焼却場等の一般廃棄物処理施設については、中・北空知5市9町の「中・北空知廃棄物処理広域連合広域計画」を定め、これをもとに可燃ごみを歌志内市内にある中・北空知廃棄物処理ごみ焼却場へ積替運搬するための中継施設と生ごみのバイオガス化施設を、1市4町（深川市・妹背牛町・秩父別町・北竜町・沼田町）で「北空知衛生センター組合ごみ処理施設」として深川市に整備しています。</p> <p>また、粗大・不燃ごみ及び資源ごみを受入処理するリサイクルプラザについては、深川市単独で整備しており、リサイクルプラザから発生する残さについては、一般廃棄物最終処分場に埋め立てします。</p>	概況	<p>■下水道</p> <p>下水道は、市街地における浸水の防除や、河川などの公共用水域の水質保全など、快適で衛生的な生活環境を形成するために不可欠な施設です。</p> <p>都市計画区域内における公共下水道は、昭和47年に事業認可を受け、現在は汚水788haの認可を受けており、下水道普及率（実施）*は69.3%となっています。</p> <p>■処理施設</p> <p>資源循環型社会の形成を目指し、ごみの減量化・資源化を一層推進することが必要です。</p> <p>ごみ焼却場等の一般廃棄物処理施設については、北海道の定める「北海道廃棄物処理計画」、「ごみ処理の広域化計画」に基づき、中・北空知6市10町の「中・北空知地域ごみ処理広域化基本計画」を定め、これをもとに可燃ごみを歌志内市内にある民間の焼却発電施設へ積替運搬するための中継施設と生ごみのバイオガス化施設を、1市4町（深川市・妹背牛町・秩父別町・北竜町・沼田町）で「北空知衛生センター組合ごみ処理施設」として深川市に整備しています。</p> <p>また、粗大・不燃ごみ及び資源ごみを受入処理するリサイクルプラザについては、深川市単独で整備しており、リサイクルプラザから発生する残さについては、一般廃棄物最終処分場に埋め立てします。</p>	
整備方針	<p>■下水道</p> <p>生活雑排水や産業排水などによる水質汚濁や雨水による浸水を防ぎ、衛生的な都市生活の充実と確保を目標として、将来的な土地利用と整合を図りながら公共下水道の整備を促進します。</p> <p>都市計画区域内の下水道普及を推進するため、市民意識の高揚、資金融資制度活用による排水設備及び水洗化の普及促進に努めます。</p> <p>施設については、効率的で経済的な維持管理を図ります。</p> <p>■処理施設</p> <p>一般廃棄物処理施設については、引き続き各計画等に基づき整備に努めるとともに、効率的で経済的な維持管理を図ります。</p> <p>一般廃棄物処理施設は、都市計画区域より離れたところに位置していますが、今後、住民や関係者間の合意形成等の観点から、都市計画決定について十分検討します。</p> <p>産業廃棄物処理施設は、民間それぞれの計画による整備が基本となっていますが、その計画的な位置づけなどとともに、公益性のある施設としての整理を踏まえ、その上で施設の整備、管理運営等を含めた恒久性の確保が図られると判断する場合については、都市計画決定に向けての検討を行います。</p>	整備方針	<p>■下水道</p> <p>生活雑排水や産業排水などによる水質汚濁や雨水による浸水を防ぎ、衛生的な都市生活の充実と確保を目標として、将来的な土地利用と整合を図りながら公共下水道の整備を促進します。</p> <p>都市計画区域内の下水道普及を推進するため、市民意識の高揚、資金融資制度活用による排水設備及び水洗化の普及促進に努めます。</p> <p>施設については、効率的で経済的な維持管理を図ります。</p> <p>■処理施設</p> <p>一般廃棄物処理施設については、引き続き各計画等に基づき整備に努めるとともに、効率的で経済的な維持管理を図ります。</p> <p>一般廃棄物処理施設は、都市計画区域より離れたところに位置していますが、今後、住民や関係者間の合意形成等の観点から、都市計画決定について十分検討します。</p> <p>産業廃棄物処理施設は、民間それぞれの計画による整備が基本となっていますが、その計画的な位置づけなどとともに、公益性のある施設としての整理を踏まえ、その上で施設の整備、管理運営等を含めた恒久性の確保が図られると判断する場合については、都市計画決定に向けての検討を行います。</p>	
※下水道普及率=処理区域内人口÷行政人口×100%（令和2年3月末現在）		※下水道普及率=処理区域内人口÷行政人口×100%（平成15年度末現在）		

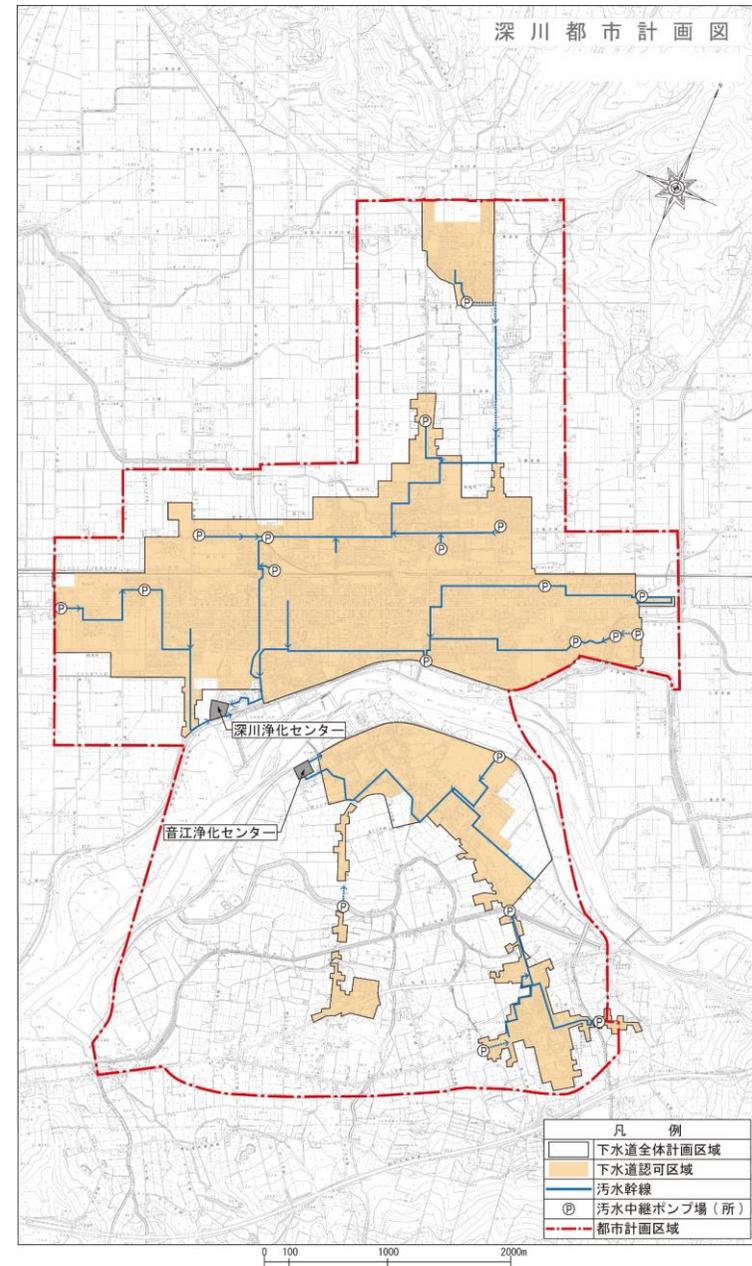
新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）

図 2-1-1 処理施設整備の方針（下水道、污水）



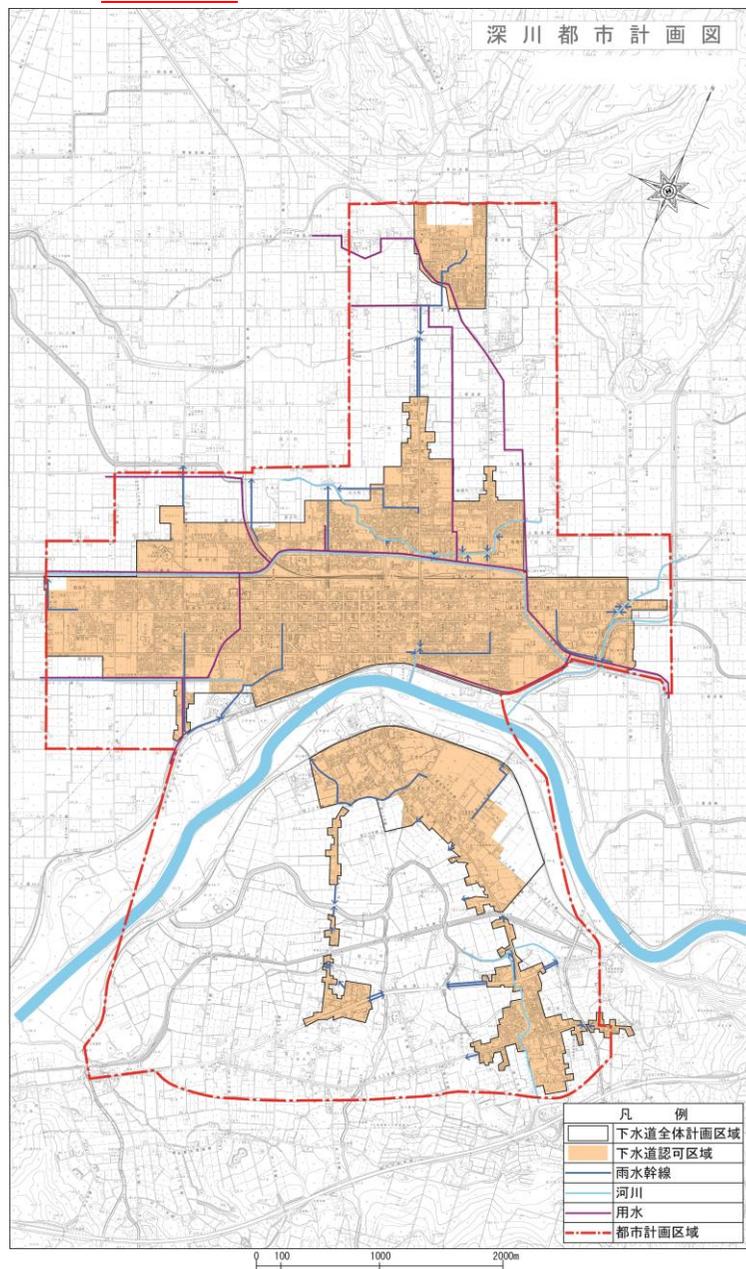
旧 深川市都市計画マスタープラン

図1-2-4 処理施設整備の方針（下水道、污水）



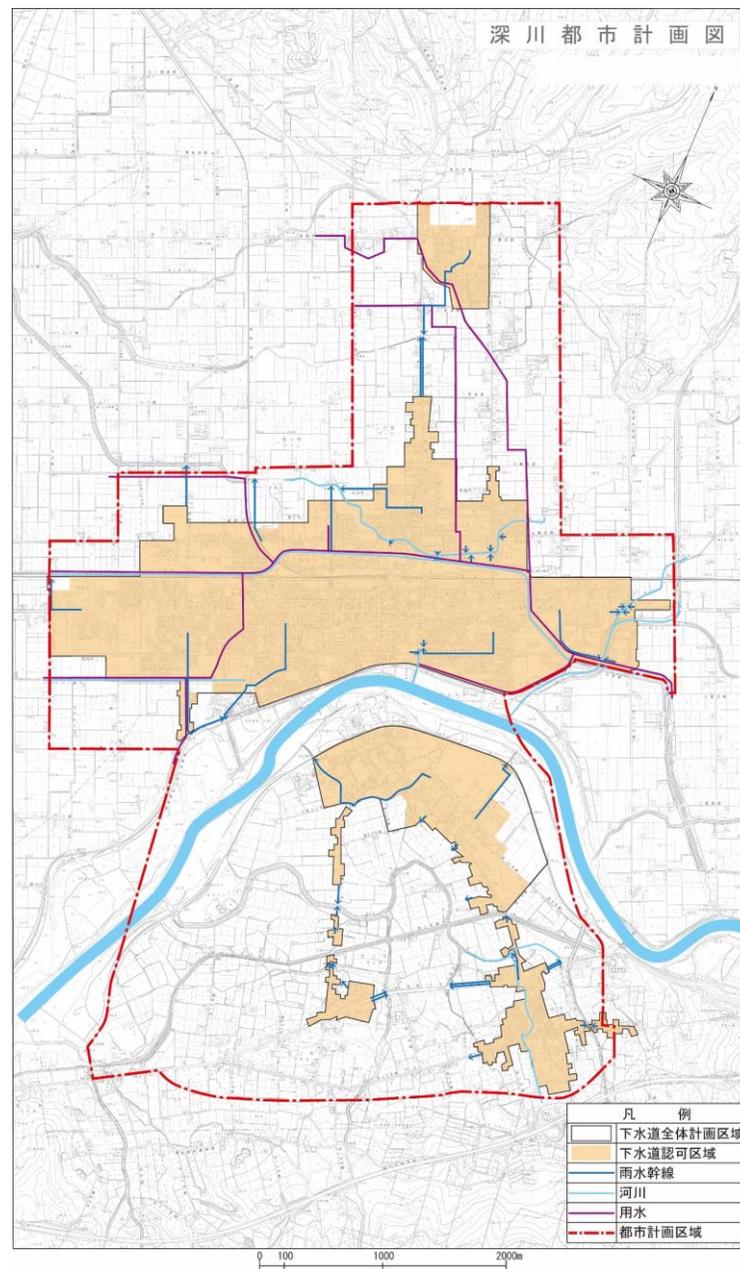
新 深川市都市計画マスタープラン (たたき台)

図 2-1-2 処理施設整備の方針 (下水道、雨水)



旧 深川市都市計画マスタープラン

図1-2-4 処理施設整備の方針 (下水道、雨水)



旧P
P27

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P		
<p>3章 地域別構想</p> <p>1 深川市街地の土地利用方針 深川市街地は、「広域連携都市」においては都市的アメニティ拠点であり、「あんしん生活都市」においては中心的役割を担っています。 土地利用の基本方針については、中心市街地であることから、<u>(1)住宅地</u>、<u>(2)商業業務地</u>、<u>(3)流通工業地</u>の用途に応じた方針を図ることとします。</p> <p>(1) 住宅地</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>いつまでも「住み続ける」ことができる住宅地の形成</p> </div> <p>①概況 深川市街地における住宅地は、JR深川駅を中心とした商業業務地を取り囲む形で形成されており、住宅市街地の範囲は東西約4km、南北約2kmに及んでいます。 JR深川駅<u>北側の古い住宅地や未利用地において、土地区画整理事業を実施し、良好な居住環境が創造されています。</u> 一方、市街地の外縁に近い比較的新しい住宅地は、個別の宅地開発等により市街地が形成されていますが、現在も農用地として利用されている地区が多くみられます。</p> <p>②基本的な考え方 「コンパクトな市街地」の実現を目指し、既存市街地における住宅地整備を基本とし、住宅地の無秩序な拡大が生じないよう<u>適正な立地計画の視点も含め具体的な誘導や規制を検討します。</u> 利便性の高い中心市街地においては、密度を高く維持しながら、商業業務施設と混在した賑わいのある住宅地とし、主要幹線道路や幹線道路沿道の後背地は中層住宅地、市街地外縁部周辺は、オープンスペースをゆったりとった低密度な住宅地とするなど、周囲の農業環境と調和のとれたメリハリある市街地形成を目指すと<u>ともに公共施設や業務施設の適正な立地を誘導</u>します。</p>	<p>(2)-1深川市街地の土地利用方針 深川市街地は、「広域連携都市」においては都市的アメニティ拠点であり、「あんしん生活都市」においては中心的役割を担っています。 土地利用の基本方針については、中心市街地であることから、①住宅地、②商業業務地、③流通工業地の用途に応じた方針を図ることとします。</p> <p>①住宅地</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>■いつまでも「住み続ける」ことができる住宅地の形成</p> </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>深川市街地</p> </td> </tr> </table> </div> <p>■概況 深川市街地における住宅地は、JR深川駅を中心とした商業業務地を取り囲む形で形成されており、住宅市街地の範囲は東西約4km、南北約2kmに及んでいます。 JR深川駅に近い古くからの住宅地は、街区形状が比較的大きく、宅地規模が比較的小さい、接道しない宅地などがみられます。 一方、市街地の外縁に近い比較的新しい住宅地は、個別の宅地開発等により市街地が形成されていますが、現在も農用地として利用されている地区が多くみられます。</p> <p>■基本的な考え方 「コンパクトな市街地」の実現を目指し、既存市街地における住宅地整備を基本とし、住宅地の無秩序な拡大が生じないように<u>誘導規制を行います。</u></p> <p>利便性の高い中心市街地においては、密度が高く、商業業務施設と混在した賑わいのある住宅地とし、主要幹線道路や幹線道路沿道の後背地は中層住宅地、市街地外縁部周辺は、オープンスペースをゆったりとった低密度な住宅地とするなど、周囲の農業環境と調和のとれたメリハリある市街地形成を目指します。</p>	<p>■いつまでも「住み続ける」ことができる住宅地の形成</p>	<p>深川市街地</p>	<p>P12</p>
<p>■いつまでも「住み続ける」ことができる住宅地の形成</p>	<p>深川市街地</p>			

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P P13
③方針				
a. 中心市街地 周辺住宅地	■位置づけ 中心市街地に近接する環境を 活 かし、主に戸建住宅、共同住宅、小規模な生活 利便施設などからなる、利便性が高く、比較的密度の高い住宅地とします。 ■配置方針 JR深川駅から概ね1kmをメドとする、中心市街地の周辺に配置します。 ■土地利用方針 基盤施設が整備され、宅地形状が比較的整った良好な住宅地は、建物の更新に 合わせた公共空間の創出を行うなど、今後も良質な環境の維持発展を図ります。 市営住宅などの整備に当たっては、「 深川市公営住宅等長寿命化計画(第3期) 」 に基づき 、建物の中層化による供給戸数の確保を図るとともに、土地の有効利用 により、周辺の住環境向上につながる環境整備を図ります。 特にJR深川駅北側は、木工場や流通業務系施設の移転により未利用の土地が あったことから 、中心市街地に近接した立地条件を 活 かし、土地区画整理事業等 の面的整備手法により、良好な居住環境を創出し中心部への居住の推進を図 ると ともに 、用途の変更を 行いました 。	a. 中心市街地 周辺住宅地	■位置づけ 中心市街地に近接する環境を い かし、主に戸建住宅、共同住宅、小規模な生活 利便施設などからなる、利便性が高く、比較的密度の高い住宅地とします。 ■配置方針 JR深川駅から概ね1kmをメドとする、中心市街地の周辺に配置します。 ■土地利用方針 基盤施設が整備され、宅地形状が比較的整った良好な住宅地は、建物の更新に 合わせた公共空間の創出を行うなど、今後も良質な環境の維持発展を図ります。 基盤施設が未整備のまま開発された住宅地は、建物の更新などに合わせ街区単 位での都市基盤施設整備を進めます。 市営住宅などの整備に当たっては、建物の中層化による供給戸数の確保を図る とともに、土地の有効利用により、周辺の住環境向上につながる環境整備を図り ます。 特にJR深川駅北側は、木工場や流通業務系施設の移転により未利用となっ ている土地があるため 、中心市街地に近接した立地条件を い かし、土地区画整理事 業等の面的整備手法により、良好な居住環境を創出することで中心部への居住の 推進を図り、合わせて用途の変更を検討します。	
	■位置づけ 主に公共施設、共同住宅、戸建住宅、住環境に支障のない業務施設からなる、 利便性の高い住宅地とします。 ■配置方針 JR函館本線南側において、都市計画道路3・4・9号蓬萊町線などにより中 心市街地へとつながる地区に配置します。 ■土地利用方針 住環境に悪影響の少ない公共施設や業務施設の立地を誘導します。 公共施設の整備に当たっては、住宅地の環境保全に配慮します。 市庁舎や健康福祉センターなどが立地する市庁舎周辺地区(仮称)については、 市庁舎の建て替え予定地であることや、コンパクトな市街地をより推進するた めに公共施設の集約化を目的として大規模な公共施設が立地することができるよ う、用途の変更を検討します。		■位置づけ 主に公共施設、共同住宅、戸建住宅、住環境に支障のない業務施設からなる、 利便性の高い住宅地とします。 ■配置方針 JR函館本線南側において、都市計画道路3・4・9号蓬萊町線などにより中心 市街地へとつながる地区に配置します。 ■土地利用方針 住環境に悪影響の少ない公共施設や業務施設の立地を誘導します。 公共施設の整備に当たっては、住宅地の環境保全に配慮します。	
b. 一般住宅地		b. 一般住宅地		

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P P13
c. 低層住宅地	<p>■位置づけ 主に低層の戸建住宅からなる、周囲の農村環境と調和した、ゆとりと落ち着きのある専用の住宅地とします。</p> <p>■配置方針 幹線道路沿道を除く市街地の縁辺部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 落ち着いた環境の既成の住宅地は、環境阻害要因の進入を排除し、今後とも良好な環境の保全を図ります。 地区内にある面的な農地は、宅地化することを基本としますが、<u>無計画な染み出しが生じないように、適格な誘導が必要です。</u>また、長期にわたり営農を続けている地区については、市街地内の貴重な緑地として位置づけ、その維持保全を検討します。 また、市民農園などの利用についても検討します。</p>	<p>c. 低層住宅地</p> <p>■位置づけ 主に低層の戸建住宅からなる、周囲の農村環境と調和した、ゆとりと落ち着きのある専用の住宅地とします。</p> <p>■配置方針 幹線道路沿道を除く市街地の縁辺部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 落ち着いた環境の既成の住宅地は、環境阻害要因の進入を排除し、今後とも良好な環境の保全を図ります。 地区内にある面的な農地は、宅地化することを基本としますが、長期にわたり営農を続けている地区については、市街地内の貴重な緑地として位置づけ、その維持保全を検討します。 また、市民農園などの利用についても検討します。</p>	

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P		
<p data-bbox="107 150 295 177">(2) 商業業務地</p> <div data-bbox="98 213 1079 268" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p data-bbox="412 225 763 252">賑わいのある商業業務地の形成</p> </div> <p data-bbox="94 304 174 331">①概況</p> <p data-bbox="94 336 1075 395">深川市街地における商業業務地は、JR深川駅前を中心に広がりを見せている地区と、国道・道道などの沿道に薄く広く形成された地区とで形成されています。</p> <p data-bbox="94 400 1084 587">JR深川駅前地区は、都市計画道路3・4・2号駅前通の拡幅に合わせて再整備や、<u>都市計画道路3・4・9号蓬莱町線の無電柱化</u>が行われ、沿道景観が調和したまちなみを生み出されています。また、鉄道・バスなどの交通機関も含め、商店街・飲食店街・医療施設など多数の業種が集約する北空知圏の中心的役割も担っている地区であるため、景観に配慮した<u>コンパクトなまちづくり</u>を進め、かつての賑わいのある中心市街地への再生を図ることが期待されています。</p> <p data-bbox="94 592 1084 651">一方、国道などの幹線道路沿道に形成された商業施設は、広域から自動車を利用して多くの集約が見込めることから、店舗の大型化が進んでいます。</p> <p data-bbox="94 687 295 715">②基本的な考え方</p> <p data-bbox="94 719 1084 778">「あんしん生活都市」実現のため、中心市街地、幹線道路沿道と、地域の特性に合わせた商業業務地区の形成を図ります。</p> <p data-bbox="94 783 1084 970">中心市街地としては、JR深川駅前の都市計画道路3・4・2号駅前通（国道233号・一般道道深川停車場線）を中心に、3・4・9号蓬莱町線、3・4・1号本町通（国道233号・主要道道深川雨竜線・主要道道旭川深川線）、<u>生活関連経路など沿線に商業業務地が形成されており、今後とも当市の商業業務地として、無電柱化や、歩道のバリアフリー、ブロック舗装など景観や安全に配慮した通行環境と</u>、各店舗を歩いて回れる、楽しさのある地区として整備・検討を図ります。</p> <p data-bbox="94 975 1084 1034">また、夜間でも賑わいのある中心市街地の形成を目指し、集合住宅などの密度の高い住宅の誘導を図ります。</p> <p data-bbox="94 1038 1084 1129">幹線道路沿道地区においては、自動車での来客が主体となることから、交通渋滞・騒音などによる地域の住環境への悪影響がでないよう、適切な整備が行われるよう誘導規制を行います。</p>	<p data-bbox="1111 150 1258 177">②商業業務地</p> <div data-bbox="1111 213 2092 268" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="1111 213 1787 268" style="width: 70%; text-align: center;"> <p data-bbox="1124 225 1498 252">■賑わいのある商業業務地の形成</p> </td> <td data-bbox="1787 213 2092 268" style="width: 30%; text-align: center;"> <p data-bbox="1823 225 2056 252">深川市街地</p> </td> </tr> </table> </div> <p data-bbox="1111 304 1214 331">■概況</p> <p data-bbox="1111 336 2092 395">深川市街地における商業業務地は、JR深川駅前を中心に広がりを見せている地区と、国道・道道などの沿道に薄く広く形成された地区とで形成されています。</p> <p data-bbox="1111 400 2101 555">JR深川駅前地区は、都市計画道路3・4・2号駅前通の拡幅に合わせて再整備が行われ、沿道景観が調和したまちなみを生み出されています。また、鉄道・バスなどの交通機関も含め、商店街・飲食店街・医療施設など多数の業種が集約する北空知圏の中心的役割も担っている地区であるため、景観に配慮した<u>一体的なまちづくり</u>を進め、かつての賑わいのある中心市街地への再生を図ることが期待されています。</p> <p data-bbox="1111 592 2101 651">一方、国道などの幹線道路沿道に形成された商業施設は、広域から自動車を利用して多くの集約が見込めることから、店舗の大型化が進んでいます。</p> <p data-bbox="1111 687 1312 715">■基本的な考え方</p> <p data-bbox="1111 719 2101 778">「あんしん生活都市」実現のため、中心市街地、幹線道路沿道と、地域の特性に合わせた商業業務地区の形成を図ります。</p> <p data-bbox="1111 783 2101 938">中心市街地としては、JR深川駅前の都市計画道路3・4・2号駅前通（国道233号・一般道道深川停車場線）を中心に、3・4・9号蓬莱町線、3・4・1号本町通（国道233号・主要道道深川雨竜線・主要道道旭川深川線）沿線に商業業務地が形成されており、今後とも当市の商業業務地として、各店舗を歩いて回れる、楽しさのある地区として整備・検討を図ります。</p> <p data-bbox="1111 975 2101 1034">また、夜間でも賑わいのある中心市街地の形成を目指し、集合住宅などの密度の高い住宅の誘導を図ります。</p> <p data-bbox="1111 1038 2101 1129">幹線道路沿道地区においては、自動車での来客が主体となることから、交通渋滞・騒音などによる地域の住環境への悪影響がでないよう、適切な整備が行われるよう誘導規制を行います。</p>	<p data-bbox="1124 225 1498 252">■賑わいのある商業業務地の形成</p>	<p data-bbox="1823 225 2056 252">深川市街地</p>	<p data-bbox="2125 150 2181 177">P14</p>
<p data-bbox="1124 225 1498 252">■賑わいのある商業業務地の形成</p>	<p data-bbox="1823 225 2056 252">深川市街地</p>			

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P P15
③方針				
a. 商店街地区 （中心市街地ゾーン） （まちなか市街地ゾーン）	■位置づけ 商業施設・サービス業務施設など生活利便施設が幹線道路沿道に集約された、活気のある深川市の生活や産業活動の中心軸を形成する地区とします。	■位置づけ 商業施設・サービス業務施設など生活利便施設が幹線道路沿道に集約された、活気のある深川市の生活や産業活動の中心軸を形成する地区とします。	■配置方針 深川市街地中心部の3・4・1号本町通、3・4・2号駅前通沿道に配置します。	
	■配置方針 深川市街地中心部の3・4・1号本町通、3・4・2号駅前通沿道に配置します。			
b. 中心商業業務地区 （中心市街地ゾーン）	■位置づけ 幹線道路沿道の商店街地区とともに、飲食店街・業務施設・医療施設・公共施設など機能施設をさらに集約・誘導を図るべく、用途の見直しを検討し、人が集まり多様な都市活動が展開される深川市の中心市街地を形成する地区とします。	■位置づけ 幹線道路沿道の商店街地区とともに、飲食店街・業務施設・医療施設・公共施設などが集約された、人が集まり多様な都市活動が展開される深川市の中心市街地を形成する地区とします。	■配置方針 3・4・1号本町通と3・4・2号駅前通の交差点を中心とした、概ね半径500mの圏内に配置します。	
	■配置方針 3・4・1号本町通と3・4・2号駅前通の交差点を中心とした、概ね半径500mの圏内に配置します。			

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P P15
<p>c. 沿道商業 業務地区 （沿道市街 地ゾーン）</p>	<p>■位置づけ 幹線道路沿道の交通利便性を活かし、主に広域圏における住民や通過交通を対象とした大型の商業施設や業務施設、大規模な駐車場を備えた施設など各種サービス施設が立地する地区とします。</p> <p>■配置方針 中心市街地周辺部の3・4・1号本町通、3・4・3号一已5丁目線等の主要幹線道路沿線に配置します。</p> <p>■土地利用方針 自動車による利用が多数を占めることが想定される商業施設、業務施設の適正な立地誘導を図ります。 利用者数に見合う駐車場・駐輪場を確保するとともに、幹線道路からの安全なアクセスに配慮した施設整備を推進します。 後背住宅地への騒音・粉塵・通過交通の進入等に配慮し、住環境の保全に努めます。</p>	<p>c. 沿道商業 業務地区 （沿道市街 地ゾーン）</p>	<p>■位置づけ 幹線道路沿道の交通利便性をいかし、主に広域圏における住民や通過交通を対象とした大型の商業施設や業務施設、大規模な駐車場を備えた施設など各種サービス施設が立地する地区とします。</p> <p>■配置方針 中心市街地周辺部の3・4・1号本町通、3・4・3号一已5丁目線等の主要幹線道路沿線に配置します。</p> <p>■土地利用方針 自動車による利用が多数を占めることが想定される商業施設、業務施設の立地誘導を図ります。 利用者数に見合う駐車場・駐輪場を確保するとともに、幹線道路からの安全なアクセスに配慮した施設整備を図ります。 後背住宅地への騒音・粉塵・通過交通の進入等に配慮し、住環境の保全に努めます。</p>	

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P				
<p>(3) 流通工業地</p>	<p>③流通工業地</p>		<p>P16</p>				
<p style="text-align: center;">農業と調和した工業地の形成</p>	<p>■農業と調和した工業地の形成</p>	<p style="text-align: center;">深川市街地</p>					
<p>①概況 深川市街地における工業地は、JR深川駅北側の農業関連工業地と、国道・道道などの主要幹線沿道に広がるサービス型工業地（自動車修理工場など）に区分されます。輸送体系の大きな変化などにより、駅周辺から利便性の高い国道などの幹線道路沿道における工業需要が高くなってきています。</p> <p>②基本的な考え方 JR深川駅北側は、鉄道輸送を利用した流通業務系施設、鉄道関連施設や農業関連施設が立地する準工業地域となっていました。未利用地となった土地があったため、「(1)住宅地」で示したとおり一部区域において住宅地としての用途転換を図りました。</p> <p>深川市街地北側の都市計画道路3・4・3号一已5丁目線（国道233号）沿道には、郊外型商業業務施設などが立地してきておりますが、適正な土地利用の規制を行う必要があることから、その規制手法の検討を行います。 幹線道路沿道の工業地は、後背の住宅地への騒音、自動車交通などの悪影響が出ないように適切な誘導を図ります。</p> <p>③方針</p>	<p>■概況 深川市街地における工業地は、JR深川駅北側の鉄道・農業関連工業地と、国道・道道などの主要幹線沿道に広がるサービス型工業地（自動車修理工場など）に区分されます。輸送体系の大きな変化などにより、駅周辺に工業地を配置する需要が低くなる一方で、利便性の高い国道などの幹線道路沿道における工業需要が高くなってきています。</p> <p>■基本的な考え方 JR深川駅北側は、鉄道輸送を利用した木工場や流通業務系施設、鉄道関連施設や農業関連施設が立地する準工業地域となっていますが、輸送体系の変化による工場等の移転等により未利用地となっている土地があるため、「①住宅地」で示したとおり一部区域において住宅地としての用途転換を図ります。</p> <p>深川市街地北側の都市計画道路3・4・3号一已5丁目線（国道233号）沿道には、郊外型商業業務施設などが立地してきており、土地利用規制を行う必要があることから、その規制手法の検討を行います。 幹線道路沿道の工業地は、後背の住宅地への騒音、自動車交通などの悪影響が出ないように適切な誘導を図ります。</p> <p>■方針</p>						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">沿道業務地区</td> <td> <p>■位置づけ 幹線道路沿道の交通利便性を活かし、主に広域圏における住民や通過交通を対象とした工業・流通系の業務施設が立地する地区とします。</p> <p>■配置方針 JR深川駅北側から3・4・3号一已5丁目線沿道と、3・4・1号本町通及び3・4・3号一已5丁目線の沿道の市街地最端部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 業務施設、工業施設、農業関連施設などのうち、周辺の住宅地に影響の少ない施設の誘導を図ります。 利用者数に見合う駐車場等を確保するとともに、幹線道路からの安全なアクセスに配慮した施設整備を推進します。 住宅地に隣接する地区は、住宅地の住環境の保全に配慮します。</p> </td> </tr> </table>	沿道業務地区	<p>■位置づけ 幹線道路沿道の交通利便性を活かし、主に広域圏における住民や通過交通を対象とした工業・流通系の業務施設が立地する地区とします。</p> <p>■配置方針 JR深川駅北側から3・4・3号一已5丁目線沿道と、3・4・1号本町通及び3・4・3号一已5丁目線の沿道の市街地最端部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 業務施設、工業施設、農業関連施設などのうち、周辺の住宅地に影響の少ない施設の誘導を図ります。 利用者数に見合う駐車場等を確保するとともに、幹線道路からの安全なアクセスに配慮した施設整備を推進します。 住宅地に隣接する地区は、住宅地の住環境の保全に配慮します。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">沿道業務地区</td> <td> <p>■位置づけ 幹線道路沿道の交通利便性をいかし、主に広域圏における住民や通過交通を対象とした工業・流通系の業務施設が立地する地区とします。</p> <p>■配置方針 3・4・1号本町通、3・4・3号一已5丁目線の沿道の市街地最端部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 業務施設、工業施設、農業関連施設などのうち、周辺の住宅地に影響の少ない施設の誘導を図ります。 利用者数に見合う駐車場等を確保するとともに、幹線道路からの安全なアクセスに配慮した施設整備を図ります。 住宅地に隣接する地区は、住宅地の住環境の保全に配慮します。</p> </td> </tr> </table>		沿道業務地区	<p>■位置づけ 幹線道路沿道の交通利便性をいかし、主に広域圏における住民や通過交通を対象とした工業・流通系の業務施設が立地する地区とします。</p> <p>■配置方針 3・4・1号本町通、3・4・3号一已5丁目線の沿道の市街地最端部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 業務施設、工業施設、農業関連施設などのうち、周辺の住宅地に影響の少ない施設の誘導を図ります。 利用者数に見合う駐車場等を確保するとともに、幹線道路からの安全なアクセスに配慮した施設整備を図ります。 住宅地に隣接する地区は、住宅地の住環境の保全に配慮します。</p>	
沿道業務地区	<p>■位置づけ 幹線道路沿道の交通利便性を活かし、主に広域圏における住民や通過交通を対象とした工業・流通系の業務施設が立地する地区とします。</p> <p>■配置方針 JR深川駅北側から3・4・3号一已5丁目線沿道と、3・4・1号本町通及び3・4・3号一已5丁目線の沿道の市街地最端部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 業務施設、工業施設、農業関連施設などのうち、周辺の住宅地に影響の少ない施設の誘導を図ります。 利用者数に見合う駐車場等を確保するとともに、幹線道路からの安全なアクセスに配慮した施設整備を推進します。 住宅地に隣接する地区は、住宅地の住環境の保全に配慮します。</p>						
沿道業務地区	<p>■位置づけ 幹線道路沿道の交通利便性をいかし、主に広域圏における住民や通過交通を対象とした工業・流通系の業務施設が立地する地区とします。</p> <p>■配置方針 3・4・1号本町通、3・4・3号一已5丁目線の沿道の市街地最端部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 業務施設、工業施設、農業関連施設などのうち、周辺の住宅地に影響の少ない施設の誘導を図ります。 利用者数に見合う駐車場等を確保するとともに、幹線道路からの安全なアクセスに配慮した施設整備を図ります。 住宅地に隣接する地区は、住宅地の住環境の保全に配慮します。</p>						

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P						
<p>2 その他市街地の土地利用方針</p> <p>(1) あけぼの市街地</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>団地内に残る大規模な農地を<u>活</u>かしたまちづくり</p> </div> <p>①概況 あけぼの市街地は、戸建て住宅と公営住宅からなる、計画的に開発された住宅団地であり、周囲は農地や山地に囲まれ、大國神社・丸山公園にも近いなど、自然環境に恵まれた地域です。 近隣には、民間により病院が建設され、医療福祉サービス機能の充実が期待されています。 また、団地整備後約<u>50</u>年近く経過しており、公営住宅などの公共施設は、施設の老朽化に合わせて再整備が行われています。 現在もあけぼの市街地には多くの宅地内農地を抱えています。今後も深川市の人口は<u>減少</u>傾向で想定されており、これら<u>農地の保全を含め</u>土地利用を適切に定めることが必要です。</p> <p>②基本的な考え方 豊かな自然環境に囲まれた、コンパクトな市街地形成を図ります。 長期にわたり営農している宅地内農地は、市民農園や生産緑地とするなど、農業とふれあうことのできる市街地内の貴重な緑地として維持保全を検討します。</p> <p>③方針</p> <table border="1" data-bbox="120 959 1079 1281"> <tr> <td style="width: 15%;">a. 低層住宅地区</td> <td> <p>■位置づけ 主に低層の戸建住宅からなる、周囲の農村環境と調和した、ゆとりと落ち着きのある専用の住宅地とします。</p> <p>■配置方針 あけぼの市街地の周辺部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 地区内にある面的な農地は、宅地化することを基本としますが、長期にわたり営農を続けている地区については、市街地内の貴重な生産緑地として位置づけ、その維持保全を検討します。 また、市民農園などの利用についても検討します。</p> </td> </tr> </table>	a. 低層住宅地区	<p>■位置づけ 主に低層の戸建住宅からなる、周囲の農村環境と調和した、ゆとりと落ち着きのある専用の住宅地とします。</p> <p>■配置方針 あけぼの市街地の周辺部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 地区内にある面的な農地は、宅地化することを基本としますが、長期にわたり営農を続けている地区については、市街地内の貴重な生産緑地として位置づけ、その維持保全を検討します。 また、市民農園などの利用についても検討します。</p>	<p>(2)-2 その他市街地の土地利用方針</p> <p>①あけぼの市街地</p> <table border="1" data-bbox="1115 280 2094 347"> <tr> <td style="width: 60%;">■団地内に残る大規模な農地を<u>い</u>かしたまちづくり</td> <td style="width: 40%;">あけぼの市街地</td> </tr> </table> <p>■概況 あけぼの市街地は、戸建て住宅と公営住宅からなる、計画的に開発された住宅団地であり、周囲は農地や山地に囲まれ、大國神社・丸山公園にも近いなど、自然環境に恵まれた地域です。 近隣には、民間により病院が建設され、医療福祉サービス機能の充実が期待されています。 また、団地整備後約40年近く経過しており、公営住宅などの公共施設は、施設の老朽化に合わせて再整備が行われています。 現在もあけぼの市街地には多くの宅地内農地を抱えています。今後、深川市の人口は<u>安定</u>傾向で想定されており、これら<u>未利用地の土地利用</u>を適切に定めることが必要です。</p> <p>■基本的な考え方 豊かな自然環境に囲まれた、コンパクトな市街地形成を図ります。 長期にわたり営農している宅地内農地は、市民農園や生産緑地とするなど、農業とふれあうことのできる市街地内の貴重な緑地として維持保全を検討します。</p> <p>■方針</p> <table border="1" data-bbox="1137 959 2094 1281"> <tr> <td style="width: 15%;">a. 低層住宅地区</td> <td> <p>■位置づけ 主に低層の戸建住宅からなる、周囲の農村環境と調和した、ゆとりと落ち着きのある専用の住宅地とします。</p> <p>■配置方針 あけぼの市街地の周辺部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 地区内にある面的な農地は、宅地化することを基本としますが、長期にわたり営農を続けている地区については、市街地内の貴重な生産緑地として位置づけ、その維持保全を検討します。 また、市民農園などの利用についても検討します。</p> </td> </tr> </table>	■団地内に残る大規模な農地を<u>い</u>かしたまちづくり	あけぼの市街地	a. 低層住宅地区	<p>■位置づけ 主に低層の戸建住宅からなる、周囲の農村環境と調和した、ゆとりと落ち着きのある専用の住宅地とします。</p> <p>■配置方針 あけぼの市街地の周辺部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 地区内にある面的な農地は、宅地化することを基本としますが、長期にわたり営農を続けている地区については、市街地内の貴重な生産緑地として位置づけ、その維持保全を検討します。 また、市民農園などの利用についても検討します。</p>	<p>P17</p>
a. 低層住宅地区	<p>■位置づけ 主に低層の戸建住宅からなる、周囲の農村環境と調和した、ゆとりと落ち着きのある専用の住宅地とします。</p> <p>■配置方針 あけぼの市街地の周辺部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 地区内にある面的な農地は、宅地化することを基本としますが、長期にわたり営農を続けている地区については、市街地内の貴重な生産緑地として位置づけ、その維持保全を検討します。 また、市民農園などの利用についても検討します。</p>							
■団地内に残る大規模な農地を<u>い</u>かしたまちづくり	あけぼの市街地							
a. 低層住宅地区	<p>■位置づけ 主に低層の戸建住宅からなる、周囲の農村環境と調和した、ゆとりと落ち着きのある専用の住宅地とします。</p> <p>■配置方針 あけぼの市街地の周辺部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 地区内にある面的な農地は、宅地化することを基本としますが、長期にわたり営農を続けている地区については、市街地内の貴重な生産緑地として位置づけ、その維持保全を検討します。 また、市民農園などの利用についても検討します。</p>							

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P P17
b. 一般住宅地 区	<p>■位置づけ 主に公共施設、共同住宅、戸建住宅、住環境に支障のない業務施設からなる、利便性の高い住宅地とします。</p> <p>■配置方針 あけぼの市街地の中心部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 住環境の悪影響の少ない公共施設や業務施設の立地を誘導します。 公共施設の整備に当たっては、住宅地の環境保全に配慮します。</p>	b. 一般住宅地 区	<p>■位置づけ 主に公共施設、共同住宅、戸建住宅、住環境に支障のない業務施設からなる、利便性の高い住宅地とします。</p> <p>■配置方針 あけぼの市街地の中心部に配置します。</p> <p>■土地利用方針 住環境の悪影響の少ない公共施設や業務施設の立地を誘導します。 公共施設の整備に当たっては、住宅地の環境保全に配慮します。</p>	

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P P19
b. 沿道業務地区 （第1種特別工業地区）	■位置づけ 幹線道路沿道の交通利便性及び工業団地隣接という利便性を活かした、工業・流通系の業務施設が立地する地区とします。 ■配置方針 広里市街地の3・4・2号駅前通沿道地区とします。 ■土地利用方針 西側後背の住宅地や周辺農業地に影響の少ない施設の誘導を図ると共に、時代の変化に対応した誘導規制について検討します。	b. 沿道業務地区 （第1種特別工業地区）	■位置づけ 幹線道路沿道の交通利便性及び工業団地隣接という利便性をいかした、工業・流通系の業務施設が立地する地区とします。 ■配置方針 広里市街地の3・4・2号駅前通沿道地区とします。 ■土地利用方針 西側後背の住宅地や周辺農業地に影響の少ない施設の誘導を図ると共に、時代の変化に対応した誘導規制について検討します。	
c. 一般住宅地区	■位置づけ 主に公共施設、共同住宅、戸建住宅、住環境に支障のない業務施設からなる、利便性の高い住宅地とします。 ■配置方針 広里地区の国道西側沿道地区に配置します。 ■土地利用方針 3・4・2号駅前通沿道の利便性の高い地区であり、住環境への悪影響の少ない公共施設や業務施設の立地を誘導します。 公共施設の整備に当たっては、住宅地の環境保全に配慮します。	c. 一般住宅地区	■位置づけ 主に公共施設、共同住宅、戸建住宅、住環境に支障のない業務施設からなる、利便性の高い住宅地とします。 ■配置方針 広里地区の国道西側沿道地区に配置します。 ■土地利用方針 3・4・2号駅前通沿道の利便性の高い地区であり、住環境への悪影響の少ない公共施設や業務施設の立地を誘導します。 公共施設の整備に当たっては、住宅地の環境保全に配慮します。	
d. 低層住宅地区	■位置づけ 主に低層の住宅からなる、専用の住宅地とします。 ■配置方針 広里市街地の西側に配置します。 ■土地利用方針 既成の住宅地は、都市計画公園広里公園・石狩緑地と近接しており、自然環境豊かな低層住宅地として、環境阻害要因の進入を排除し、今後とも良好な環境の保全を図ります。 業務施設の敷地周囲には緩衝緑地を配置するなど、居住環境と調和のとれた住宅地を目指します。	d. 低層住宅地区	■位置づけ 主に低層の住宅からなる、専用の住宅地とします。 ■配置方針 広里市街地の西側に配置します。 ■土地利用方針 既成の住宅地は、都市計画公園広里公園・石狩緑地と近接しており、自然環境豊かな低層住宅地として、環境阻害要因の進入を排除し、今後とも良好な環境の保全を図ります。 業務施設の敷地周囲には緩衝緑地を配置するなど、居住環境と調和のとれた住宅地を目指します。	

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P P20				
(3) 音江市街地		③音江市街地						
農業と調和した田園市街地の形成		■農業と調和した田園市街地の形成	音江市街地					
<p>①概況 音江市街地は、山麓に広がる農用地、集落市街地を含む地域です。 道央自動車道深川インターチェンジが隣接しており、自動車での交通利便性を活かしたキャンプ場などのスポーツ・レクリエーション施設が整備されています。加えて「ライスランドふかがわ構想」に基づき、アグリ工房まあぶ（都市農村交流センター）の整備や、道の駅「ライスランドふかがわ」のほかに、「アップルランド山の駅おとえ」の建設などにより、都市と農村の交流機能の充実・強化が図られている地域です。</p> <p>②基本的な考え方 音江市街地は、農業と調和した集落市街地として、現在の市街地規模をまもり、周囲の営農に影響がでないよう、<u>特定用途制限地域の指定等</u>の適切な土地利用を検討します。</p> <p>南に位置する音江山麓一帯を「自然レクリエーションゾーン」として位置づけ、都市と農村のコミュニティの維持・発展を図るとともに、農村環境と調和した田園市街地として今後とも位置づけていきます。</p> <p>③方針</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">a. 音江市街地 中心地区</td> <td> <p>■位置づけ 農村集落地域である音江地域の生活中心機能を有する地区とします。</p> <p>■配置方針 道道深川豊里線及び市道音43号線の交差点付近及び音江小学校近辺の地区とします。</p> <p>■土地利用方針 音江地域の生活中心機能として小売商店・公共公益施設などの集積を図ります。</p> <p>隣接する道央自動車道深川インターチェンジをいかし、都市と農村の交流機能高めるため、田園市街地としての景観に配慮します。</p> </td> </tr> </table>		a. 音江市街地 中心地区	<p>■位置づけ 農村集落地域である音江地域の生活中心機能を有する地区とします。</p> <p>■配置方針 道道深川豊里線及び市道音43号線の交差点付近及び音江小学校近辺の地区とします。</p> <p>■土地利用方針 音江地域の生活中心機能として小売商店・公共公益施設などの集積を図ります。</p> <p>隣接する道央自動車道深川インターチェンジをいかし、都市と農村の交流機能高めるため、田園市街地としての景観に配慮します。</p>	<p>■概況 音江市街地は、山麓に広がる農用地、集落市街地を含む地域です。 道央自動車道深川インターチェンジが隣接しており、自動車での交通利便性をいかしたスキー場、キャンプ場などのスポーツ・レクリエーション施設が整備されています。加えて近年では「ライスランドふかがわ構想」に基づき、アグリ工房まあぶ（都市農村交流センター）の整備や、道の駅「ライスランドふかがわ」の建設などにより、都市と農村の交流機能の充実・強化が図られている地域です。</p> <p>■基本的な考え方 音江市街地は、<u>現在都市基盤施設として公共下水道施設の整備を進めています</u>が、農業と調和した集落市街地として、現在の市街地規模をまもり、周囲の営農に影響がでないよう、用途規制などの適切な土地利用を検討します。</p> <p>南に位置する音江山麓一帯を「自然レクリエーションゾーン」として位置づけ、都市と農村のコミュニティの維持・発展を図るとともに、農村環境と調和した田園市街地として今後とも位置づけていきます。</p> <p>■方針</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">a. 音江市街地 中心地区</td> <td> <p>■位置づけ 農村集落地域である音江地域の生活中心機能を有する地区とします。</p> <p>■配置方針 道道深川豊里線及び市道音43号線の交差点付近及び音江小学校近辺の地区とします。</p> <p>■土地利用方針 音江地域の生活中心機能として小売商店・公共公益施設などの集積を図ります。</p> <p>隣接する道央自動車道深川インターチェンジをいかし、都市と農村の交流機能高めるため、田園市街地としての景観に配慮します。</p> </td> </tr> </table>		a. 音江市街地 中心地区	<p>■位置づけ 農村集落地域である音江地域の生活中心機能を有する地区とします。</p> <p>■配置方針 道道深川豊里線及び市道音43号線の交差点付近及び音江小学校近辺の地区とします。</p> <p>■土地利用方針 音江地域の生活中心機能として小売商店・公共公益施設などの集積を図ります。</p> <p>隣接する道央自動車道深川インターチェンジをいかし、都市と農村の交流機能高めるため、田園市街地としての景観に配慮します。</p>	
a. 音江市街地 中心地区	<p>■位置づけ 農村集落地域である音江地域の生活中心機能を有する地区とします。</p> <p>■配置方針 道道深川豊里線及び市道音43号線の交差点付近及び音江小学校近辺の地区とします。</p> <p>■土地利用方針 音江地域の生活中心機能として小売商店・公共公益施設などの集積を図ります。</p> <p>隣接する道央自動車道深川インターチェンジをいかし、都市と農村の交流機能高めるため、田園市街地としての景観に配慮します。</p>							
a. 音江市街地 中心地区	<p>■位置づけ 農村集落地域である音江地域の生活中心機能を有する地区とします。</p> <p>■配置方針 道道深川豊里線及び市道音43号線の交差点付近及び音江小学校近辺の地区とします。</p> <p>■土地利用方針 音江地域の生活中心機能として小売商店・公共公益施設などの集積を図ります。</p> <p>隣接する道央自動車道深川インターチェンジをいかし、都市と農村の交流機能高めるため、田園市街地としての景観に配慮します。</p>							

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）		旧 深川市都市計画マスタープラン		旧P P20
b. 田園住宅地区	<p>■位置づけ 音江地域の静穏でゆとりある環境を活かした田園型の住宅地とします。</p> <p>■配置方針 音江地域中心地区の周辺と、国道12号沿道で既に開発された住宅地とします。</p> <p>■土地利用方針 音江山麓という自然豊かな住宅地区として、周囲の田園と調和のとれたゆとりと潤いのある住環境の保全を図ります。</p>	b. 田園住宅地区	<p>■位置づけ 音江地域の静穏でゆとりある環境をいかした田園型の住宅地とします。</p> <p>■配置方針 音江地域中心地区の周辺と、国道12号沿道で既に開発された住宅地とします。</p> <p>■土地利用方針 都市基盤施設として下水道の整備を進めるとともに、音江山麓という自然豊かな住宅地区として、周囲の田園と調和のとれたゆとりと潤いのある住環境の保全を図ります。</p>	
c. 沿道業務施設許容地区	<p>■位置づけ 国道12号における通過者に対する、購買、宿泊などのサービスを実施する施設の立地を許容する地区とします。</p> <p>■配置方針 国道12号沿道の農振白地地区とします。</p> <p>■土地利用方針 主要幹線道路沿道地区であり、商業・業務施設などの施設の立地を許容しますが、農村環境に影響の少ないゆとりある土地利用を図ります。 利用者数に見合う駐車場を確保するとともに、幹線道路からの安全なアクセスに配慮した施設整備を図ります。</p>	c. 沿道業務施設許容地区	<p>■位置づけ 国道12号における通過者に対する、購買、宿泊などのサービスを実施する施設の立地を許容する地区とします。</p> <p>■配置方針 国道12号沿道の農振白地地区とします。</p> <p>■土地利用方針 主要幹線道路沿道地区であり、商業・業務施設などの施設の立地を許容しますが、農村環境に影響の少ないゆとりある土地利用を図ります。 利用者数に見合う駐車場を確保するとともに、幹線道路からの安全なアクセスに配慮した施設整備を図ります。</p>	

新 深川市都市計画マスタープラン（たたき台）	旧 深川市都市計画マスタープラン	旧P						
<p>3 周辺農業地域の土地利用方針</p>	<p>(2)-3 周辺農業地域の土地利用方針</p>	<p>P21</p>						
<p style="text-align: center;">農振白地地区における適切な土地利用の誘導</p>	<p style="text-align: center;">■農振白地地区における適切な土地利用の誘導</p>							
<p>①概況 深川市街地の縁辺部にあたる地域の幹線道路（都市計画道路3・4・1号本町通、3・4・2号駅前通、3・4・3号一已5丁目線など）沿道には、サービス系工業施設や郊外型商業業務施設などの立地が多くみられるようになってきました。 農業振興地域内の白地地域（農振白地地域）においては、建物の用途規制の観点から、これら施設の立地が行いやすい環境にあります。</p> <p>将来にわたり効率的、効果的にコンパクトなまちづくりを行い、恵まれた自然環境を活かした「田園都市」を実現するためには、これら市街地縁辺部の土地利用方針を明確に定め、指導誘導体制を強化する方法について検討を進めることが必要です。</p> <p>②基本的な考え方 市街地縁辺部の農振白地地区は、市街化をできる限り抑制することを基本とします。</p> <p>③方針</p>	<p>■概況 深川市街地の縁辺部にあたる地域の幹線道路（都市計画道路3・4・1号本町通、3・4・2号駅前通、3・4・3号一已5丁目線など）沿道には、サービス系工業施設や郊外型商業業務施設などの立地が多くみられるようになってきました。 農業振興地域内の白地地域（農振白地地域）においては、建物の用途や建ぺい率、容積率の指定が市街地より緩やかになることから、これら施設の立地が行いやすい環境にあります。</p> <p>将来にわたり効率的、効果的にコンパクトなまちづくりを行い、恵まれた自然環境を活かした「田園都市」を実現するためには、これら市街地縁辺部の土地利用方針を明確に定め、指導誘導体制を強化する方法について検討を進めることが必要です。</p> <p>■基本的な考え方 市街地縁辺部の農振白地地区は、市街化をできる限り抑制することを基本とします。</p> <p>■方針</p>							
<table border="1" data-bbox="125 1066 1077 1257"> <tr> <td data-bbox="125 1066 293 1257">農業保全地区</td> <td data-bbox="293 1066 1077 1257"> <p>■位置づけ 現況は農振白地地区。将来にわたり市街化を抑制する地区とします。</p> <p>■配置方針 幹線道路に接することのない、農振白地地区とします。</p> <p>■土地利用方針 農村環境の保全を図り、将来共に市街化を抑制します。</p> </td> </tr> </table>	農業保全地区	<p>■位置づけ 現況は農振白地地区。将来にわたり市街化を抑制する地区とします。</p> <p>■配置方針 幹線道路に接することのない、農振白地地区とします。</p> <p>■土地利用方針 農村環境の保全を図り、将来共に市街化を抑制します。</p>	<table border="1" data-bbox="1137 804 2092 1257"> <tr> <td data-bbox="1137 804 1305 1061">住居系市街化保留地区</td> <td data-bbox="1305 804 2092 1061"> <p>■位置づけ 農振白地地区。当面市街化を抑制する地区とします。</p> <p>■配置方針 3・4・1号本町通、3・4・2号駅前通、3・4・3号一已5丁目線の沿道業務地区の後背にある農振白地地区とします。</p> <p>■土地利用方針 当面は農村環境の保全を図り、市街化を抑制します。 将来的に人口動向や住宅需要動向に応じて市街化を検討します。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1137 1061 1305 1257">農業保全地区</td> <td data-bbox="1305 1061 2092 1257"> <p>■位置づけ 現況は農振白地地区。将来にわたり市街化を抑制する地区とします。</p> <p>■配置方針 幹線道路に接することのない、農振白地地区とします。</p> <p>■土地利用方針 農村環境の保全を図り、将来共に市街化を抑制します。</p> </td> </tr> </table>	住居系市街化保留地区	<p>■位置づけ 農振白地地区。当面市街化を抑制する地区とします。</p> <p>■配置方針 3・4・1号本町通、3・4・2号駅前通、3・4・3号一已5丁目線の沿道業務地区の後背にある農振白地地区とします。</p> <p>■土地利用方針 当面は農村環境の保全を図り、市街化を抑制します。 将来的に人口動向や住宅需要動向に応じて市街化を検討します。</p>	農業保全地区	<p>■位置づけ 現況は農振白地地区。将来にわたり市街化を抑制する地区とします。</p> <p>■配置方針 幹線道路に接することのない、農振白地地区とします。</p> <p>■土地利用方針 農村環境の保全を図り、将来共に市街化を抑制します。</p>	
農業保全地区	<p>■位置づけ 現況は農振白地地区。将来にわたり市街化を抑制する地区とします。</p> <p>■配置方針 幹線道路に接することのない、農振白地地区とします。</p> <p>■土地利用方針 農村環境の保全を図り、将来共に市街化を抑制します。</p>							
住居系市街化保留地区	<p>■位置づけ 農振白地地区。当面市街化を抑制する地区とします。</p> <p>■配置方針 3・4・1号本町通、3・4・2号駅前通、3・4・3号一已5丁目線の沿道業務地区の後背にある農振白地地区とします。</p> <p>■土地利用方針 当面は農村環境の保全を図り、市街化を抑制します。 将来的に人口動向や住宅需要動向に応じて市街化を検討します。</p>							
農業保全地区	<p>■位置づけ 現況は農振白地地区。将来にわたり市街化を抑制する地区とします。</p> <p>■配置方針 幹線道路に接することのない、農振白地地区とします。</p> <p>■土地利用方針 農村環境の保全を図り、将来共に市街化を抑制します。</p>							